STANDARD

携帯型デジタル簡易無線機

（総務省技術基準適合品）

無線局種別コード：3R 3T（登録局）

HX585UCR

取扱説明書

このたびは、デジタル簡易無線機HX585UCRをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
お買い上げいただきました製品に、万一ご不審な点、お気付きの点などがありましたなら、なるべくお早めにお買い上げいただきました販売店またはCSRカスタマーサポートへお問い合わせください。

安全上のご注意

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは保証書と一緒にいつでも取り出せる場所に保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警 告**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注 意**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■本文中に使われている絵表示の意味は、次のとおりです。

禁止	ぬれ手禁止	水ぬれ禁止	分解禁止
注意	感電注意	指示を守る	

⚠ 警 告（無線機について）

- 自動車などの運転中は無線機を操作しないでください。安全運転の妨げとなり、事故の原因となります。

- 当社指定の電池・充電器以外で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 警 告（無線機について）

- 無線機で使用できる電池はオプションのリチウムイオン電池パックCBP585LIです。

- 無線機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電池は分解しないでください。電池を漏液・発熱・破裂させる原因になります。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに機器本体の電源を切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはCSRカスタマーサポートに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一、無線機の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、異物が無線機の内部に入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、無線機を落としたり、破損した場合は、まず機器本体の電源を切って販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

- 濡れた手で無線機に電池を取り付け・取り外ししないでください。感電の原因となります。

- 無線機は耐塵・防水基準のIP65/IP68 に準拠しています。水に濡れた場合は、水滴を早めに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。濡れたまま放置すると、性能や寿命を低下させたり、火災・感電・故障の原因となります。

- 無線機の上や近くに水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 端子に水滴のついたまま充電しないでください。火災・故障の原因となります。

- 電池は火中へ投げ入れないでください。爆発して火災・やけどなどの原因となります。
- 電池の端子はショートさせないでください。発熱によりやけどの原因となります。電池を単品で持ち歩くとショートさせる原因となります。

⚠ 注 意（無線機について）

- この無線機は、国内仕様です。国外では使用できませんのでご注意ください。
- 航空機内や病院などの使用を禁止された場所では、この機器の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- お手入れの際は安全のため電源を切ってください。また、アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤を含んだ布で拭かないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、高温になる場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 乳幼児の手の届かないところで、使用・保管してください。
- 不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。

⚠ 注 意（リチウムイオン電池パックについて）

- 希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になったリチウムイオン電池パックは廃棄せず、販売店またはCSRカスタマーサポートまたはリサイクル協力店へご持参ください。

Li-ion

登録商標について

本製品は公式ライセンシーである 株式会社CSRにより製造、配布または販売されています。Vertex Standard、Standard、およびデザイン化されたVSロゴとSRロゴは、Vertex Standard Trademark Holdings，LLCの商標または登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。 その他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。
©2024 CSR, Inc. All rights reserved.

⚠ お願い

- 通信は無線局登録状に記載されている目的・通信の相手方および通信事項の範囲内で行ってください。
- 1回の送信時間は5分を越えないでください。
- 使用する前には、必ず無線機が正常動作するか、電池パックが十分に充電されているか、アンテナが正しく装着されているかなどを確認してください。無線機の故障による事故の責任は負いかねます。
- 通信可能範囲は地形および電波状況によって異なります。必ず通信可能範囲でご使用ください。通信不可能状態での事故の責任は負いかねます。

⚠ 無線局登録が必要です

本機をお使いになる前に、総務省総合通信局への無線局登録申請が必要です。登録申請を行って、無線局登録状がお手元に届いてからご使用ください。

- 1台の無線機を申請される場合は「個別登録申請」、2台以上の無線機を一括してご購入されたか、将来増設されるご予定がある場合は「包括登録申請」を行ってください。
- 無線局開設後は、電波利用料の納付が必要となります。総務省からの納入告知書に従って、期限内に納付してください。

無線局の登録申請手続きや開設届をしていない、上空で使用する、指定以外のアンテナを使うといった行為は不法無線局の開設となり、1年以下の懲役または100万円以下の罰金に処せられますのでご注意ください。

- デジタル簡易無線登録局は、日本国内の陸上と周辺海域での通信に利用できます。上空で運用すると違法運用となります。
- アンテナは指定のものをお使いください。指定以外のアンテナを使用すると違法運用となります。指定アンテナは、株式会社CSRのホームページをご参照ください。

本製品は米国DVSI社の開発したAMBE (Advanced Multi-Band Excitation)方式を採用し、AMBE+2™に対応しています。

The AMBE+2™ voice compression software included in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. The user of this software is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the object code, or in any other way convert the object code into a human-readable form. This software is licensed solely for use within this product. US Patent Nos. #8,359,197, #8,200,497, #6,912,495, #6,199,037, #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,715,365, #5,701,390, #5,649,050, #5,630,011, and #5,517,511.

本書に記載されている会社名、システム名、製品名は各社の登録商標または商標です。

目次

安全上のご注意 ii
絵表示について ii
モデル概要 2
本機の特長 3
通信の注意 3
キャリアセンス 3
送信時間制限装置 3
機器の構成 4
各部の名称 5
各部の機能説明 6
ご使用前の準備 11
ベルトクリップの取り付け 11
アンテナの取り付け 12
電池パックの取り付け 13
電池パックの取り外し 13
基本操作方法 14
受信操作 14
送信操作 16
閉局 17
通話方式 18
UC（ユーザーコード）通話 18
個別通話 18
通話方式の設定 19
UC（ユーザーコード）通話での送信 23
UC（ユーザーコード）通話での受信 24
個別通話での送信 25
個別通話での受信 28
不在着信機能 29
応用操作方法 30
キーロック 30
UC（ユーザーコード）の設定 30
秘話機能のオン・オフ設定 31
秘話鍵の設定 32
通話内容の録音（ボイス録音） 32
便利な機能の呼び出し 33
スキャン機能 36
エマジェンシー機能 37
セカンドPTT機能 40
設定の変更方法 41
設定手順の基本 41
呼び出し設定モード 45
機能設定モード 49
セット管理番号 54
設定の初期化 55
本体定格 56
故障とお考えになる前に 57
保証・アフターサービス 58
修理を依頼されるときは 59

モデル概要

- 本機HX585UCRは携帯型デジタル簡易無線機 登録局（3R 3T）です。
- 「3R 3T」の表示があるデジタル簡易無線機であれば、他社のデジタル簡易無線機とも通話が可能です。
- ビジネス、レンタル、レジャーと多彩なシーンで、送信出力5Wのハイパワーを生かして広範囲な通話が可能です。
- デジタル簡易無線の登録局は、下表のように分類されています。

種別	ARIB種別コード	周波数	チャンネル数	使用範囲
登録局	3R 3T	351MHz	82	全国の陸上及び日本周辺海域
登録局（上空利用）	3S 3U		15	全国の陸上及び日本周辺海域並びにそれらの上空

本機は種別コード「3R 3T」の"登録局"として開発されたもので、スカイスポーツなど、上空でのご利用はできません。

- 本機のチャンネル構成
  - ◎ チャンネル構成（ARIB無線局種別コード「3R 3T」）
    "CH-01" ～ "CH-82"のチャンネルが利用可能です。
  - ◎ 呼出用チャンネル
    "CH-15"は、「呼出用」に設定されています。
    呼出用チャンネルでは、UC（ユーザーコード）は自動的に"000"（オフ）に設定され、秘話機能も自動的にオフになります。また、通話方式の個別通話は解除されます。よって、ARIB規格で定めている「呼出用チャンネル」として、ご利用いただけます。
    なお、呼出用チャンネルは、一時的な呼び出しのみに使用し、継続的な通話は他のチャンネルで行うようにしてください。ユーザーコードおよび秘話通信の設定は呼出用チャンネルを除く他のチャンネルでのみ有効となります。
  - ◎ 上空チャンネルモニター（ARIB無線局種別コード「3S 3U」）
    上空チャンネルは"CH-S01" ～ "CH-S15"の15チャンネルをモニターすることができます（送信することはできません）。
- デジタル簡易無線機登録局は資格不要で、簡単な登録申請手続きをするだけで、誰でもご使用になれます。
  登録申請方法は株式会社CSRのホームページをご参照ください。

登録申請の流れ

※申請料は、2024年07月現在

本機の特長

- HX585UCR は業務用として開発された携帯用デジタル簡易無線機です。
- シャーシは強度と軽さを重視した、アルミダイカストによる堅牢構造です。
- 耐塵・防水基準のIP65/IP68※に準拠した防水構造により、風雨にさらされるフィールドでも安心して使用できます。

  ※ IP65は粉塵が内部に侵入せず、水の直接噴流に対する保護等級です。
  IP68は粉塵が内部に侵入せず、連続的な水没（1m24時間）に対応する保護等級です。電池パック、アンテナ未装着でも適応されます。
- 表示部には、大型の液晶表示を採用し、全角6文字、半角英数字12文字によるタグ表示も可能で、より視認性の向上が図られています。

通信の注意

デジタル簡易無線機登録局には電波法およびARIB規格により、キャリアセンスと送信時間制限装置が義務づけられています。

キャリアセンス

送信しようとするチャンネルで他局の電波を受信している間は、混信を防止するために送信を禁止する機能です。キャリアセンス動作中に**PTTボタン**を押しても送信されずに「ブッ」音が鳴ると同時に「WAIT」が表示されます。

送信時間制限装置

本機の連続送信時間は最大で5分間です。連続して**PTTボタン**を押し続けても、自動的に5分後に送信が中断されます。自動的に送信が中断された場合は、その後1分間は送信する事ができません。

機器の構成

■ 付属品

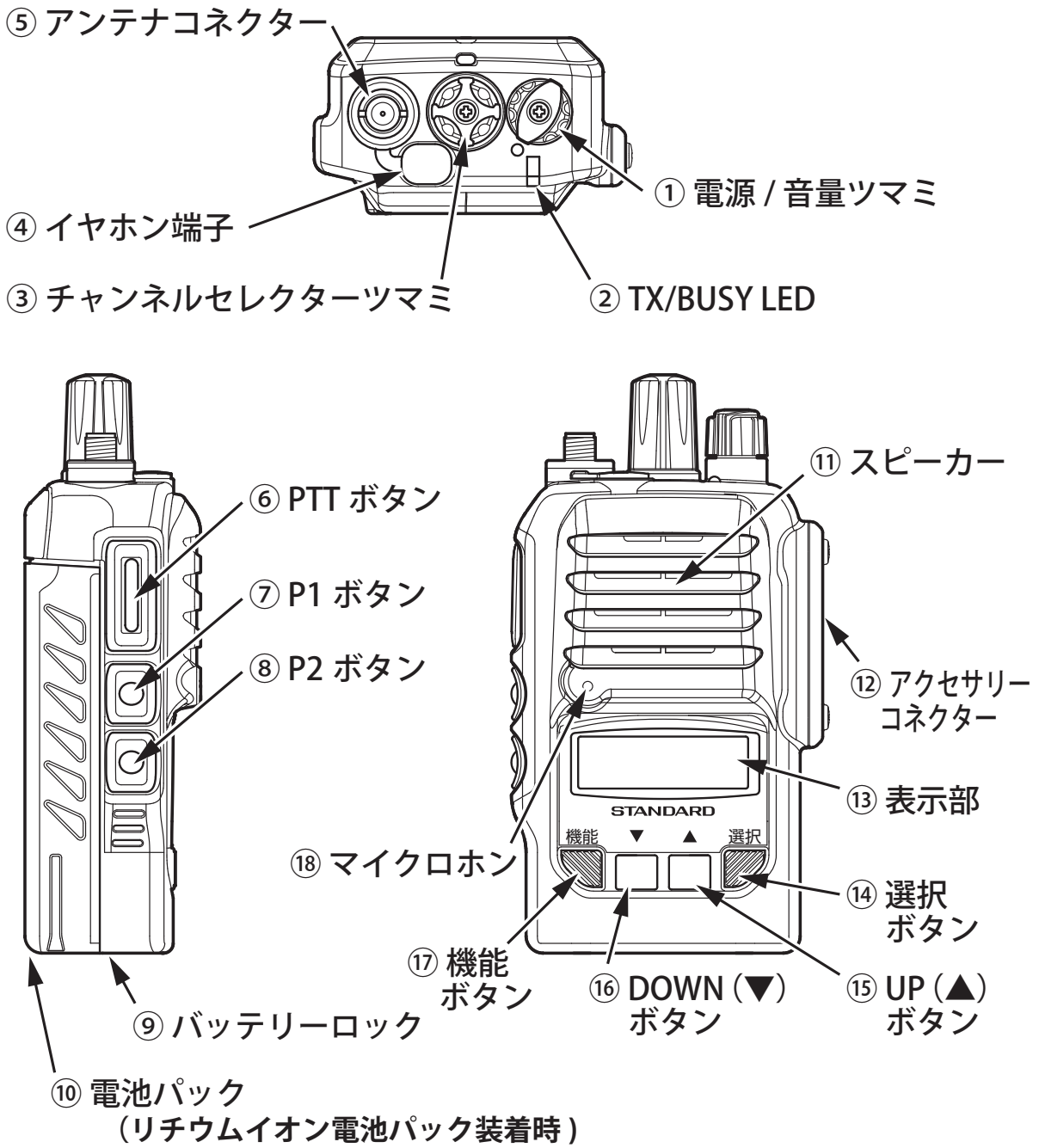
ご使用前に下記の付属品がそろっているか確認してください。

- 無線機本体 1
- ヘリカルアンテナ（YR99010100） 1
- 樹脂製ベルトクリップ（CBH585） 1
- 取扱説明書（本書） 1
- 保証書 1

■ オプション

- リチウムイオン電池パック： CBP585LI
- 急速充電器： CSA585
- ACアダプター（CSA585単独用）： CAA1210FC
- ACアダプター（CSA585連結用）： CAA1283FA
- 小型マイク＆スピーカー： CMP586
- マイク＆スピーカー： MP800JA
- マイク＆スピーカー： MH-66A7A
- マイク＆スピーカー： MH-82A7A
- マイク＆スピーカー： MH-83A7A
- マイクスタンド（CSA585取り付け）： MS01
- タイピン型イヤホンマイク： CTM500
- イヤホン： EP850
- キャリングケース： CLC585
- 樹脂製ベルトクリップ： CBH585
- 金属製ベルトクリップ： CBH586
- ヘリカルアンテナ： YR99010100

各部の名称


⑤ アンテナコネクター
① 電源 / 音量ツマミ
④ イヤホン端子
③ チャンネルセレクターツマミ
② TX/BUSY LED
⑥ PTT ボタン
⑦ P1 ボタン
⑧ P2 ボタン
⑪ スピーカー
⑫ アクセサリー
コネクター
⑬ 表示部
STANDARD
機能
▼
▲
選択
⑱ マイクロホン
⑭ 選択
ボタン
⑰ 機能
ボタン
⑯ DOWN (▼)
ボタン
⑮ UP (▲)
ボタン
⑨ バッテリーロック
⑩ 電池パック
（リチウムイオン電池パック装着時）

各部の機能説明

① 電源 / 音量ツマミ

このツマミは、電源の入・切と音量の調整を行います。
右（時計方向）に回すと電源が入り、さらに右に回すと音量が大きくなります。
左（反時計方向）に回すと音量が小さくなり、左に回しきると電源が切れます。

② TX/BUSY LED

LED 点灯状態により本機の状態を知らせます。

緑色点灯	ユーザーコード通話受信時、他局通話受信時
赤色点灯	ユーザーコード通話送信時、個別通話送信時
赤色点滅	電池パック消耗時
緑色点灯	個別通話受信時
緑色点滅	個別通話応答待ち
青色点灯	秘話送信時、秘話受信時
青色点滅	秘話個別通話応答待ち
白色点滅	エマジェンシー動作時 （緊急アラーム音の鳴動・緊急信号の送受信）

③ チャンネルセレクターツマミ

このツマミを回して、使用したいチャンネルを選択します。
設定モードで、このツマミを回して数値の桁などの変更を行うことができます。

④ イヤホン端子

イヤホンを使用する場合は、ここにオプションの専用イヤホンを挿します。その際、スピーカーからの音は出なくなります。

⑤ アンテナコネクター（SMA タイプ）

付属のヘリカルアンテナを取り付けます。

⑥ PTT ボタン

送信を開始する場合には、このボタンを押します。このボタンを押している間、TX/BUSY LED は赤色に点灯します。

⑦ P1 ボタン

このボタンを押すとモニター機能になります。受信中にこのボタンを長押しするとボイス録音を開始します。また、このボタンは、設定ツールソフトでMONI（モニター）、SCAN/EMG（スキャン/エマジェンシー）、2nd PTT（セカンドPTT）などの機能を割り当てることができます。

※本書では、モニターまたはセカンドPTTの機能が割り当てられるものとして説明しております。

⑧ P2 ボタン

このボタンを押すとスキャンを開始します。このボタンを長押しするとエマジェンシー動作になります。また、このボタンは、設定ツールソフトでMONI（モニター）、SCAN/EMG（スキャン/エマジェンシー）、2nd PTT（セカンドPTT）などの機能を割り当てることができます。

※本書では、スキャン/エマジェンシーの機能が割り当てられるものとして説明しております。

⑨ バッテリーロック

電池パックのロック機構で、本機から電池パックを取り外す時に使用します。

⑩ 電池パック

本機にDC 電源を供給します。

- 専用充電器で充電します。

⑪ スピーカー

受信音声やビープ音などが出力されます。

⑫ アクセサリーコネクター

アクセサリーコネクターカバーを外し、オプションのマイク&スピーカーなどを取り付けます。

⑬ **表示部**
本機の状態やチャンネル番号などを表示します。詳細は、「表示部」をご覧ください。

⑭ **選択ボタン**
このボタンを押すとUC（ユーザーコード）の設定や呼び出し方法（一斉・グループ・個別）の変更ができます。また、設定モードで、このボタン押すと設定項目と内容・数値の決定を行うことができます。

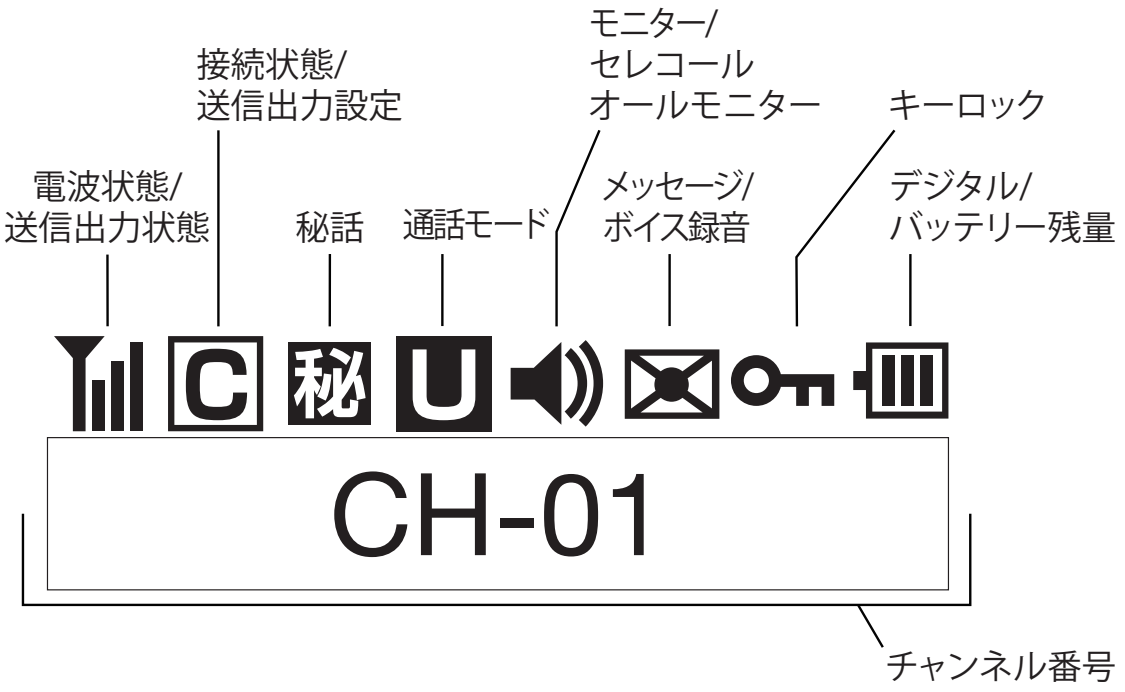
⑮ **UP（▲）ボタン**
チャンネルをアップさせます。
設定モードで、このボタンを押すと設定項目と内容・数値の選択を行うことができます。

⑯ **DOWN（▼）ボタン**
チャンネルをダウンさせます。
このボタンを長押しすると、キーロックの設定・解除になります。
設定モードで、このボタンを押すと設定項目と内容・数値の選択を行うことができます。

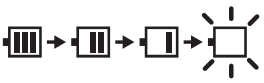
⑰ **機能ボタン**
このボタンを押すとプレイバックデータの再生などの機能を呼び出します。また、このボタンを押したまま、電源を入れると設定モード（呼び出し設定・機能設定・セット管理番号）になります。設定モードで、このボタンを押すとモードの変更を行うことができます。

⑱ **マイクロホン**
PTT ボタンを押したまま、この部分に向かってゆっくり、はっきりと話します。

■ 表示部



表示の名称	表示の意味と動作
電波状態/ 送信出力状態	[受信時]：受信信号強度を4段階で表示します。 [送信時]：送信出力がハイパワー時 ：送信出力がローパワー時
接続状態/ 送信出力設定	[受信時]：相手局と接続中にCが表示されます。 [送信時]：送信出力設定レベルをH/Lの2段階で表示します。 H：ハイパワー設定 L：ローパワー設定 R：受信専用チャンネル
秘話	秘話通話設定中に秘が表示されます。
通話モード	通話モードを表示します。 U：ユーザーコード通話 個：個別通話で個別呼び出し設定 G：個別通話でグループ呼び出し設定 全：個別通話で一斉呼び出し設定
モニター/ セレコールオール モニター	：モニター機能動作時 M：セレコールオールモニター機能設定時

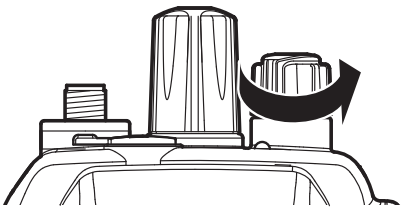
表示の名称	表示の意味と動作
メッセージ/ ボイス録音	ショートメッセージの受信時またはボイス録音時に表示します。 ：ショートメッセージの受信時 ：ボイス録音時に点滅
キーロック	キーロック中に が表示されます。
デジタル/ バッテリー残量	チャンネルを変更するごとに1秒間チャンネルがデジタルであることを表示します。 ：デジタルチャンネル バッテリー残量を4段階で表示します。  バッテリー残量が点滅したら、速やかに充電してください。
チャンネル番号	チャンネル番号を"CH-01"のように表示します。 設定ツールソフトを使用しチャンネル番号をタグ表示に設定する事も可能です。 全角6文字、半角英数字12文字まで表示設定が可能です。

ご使用前の準備

ベルトクリップの取り付け

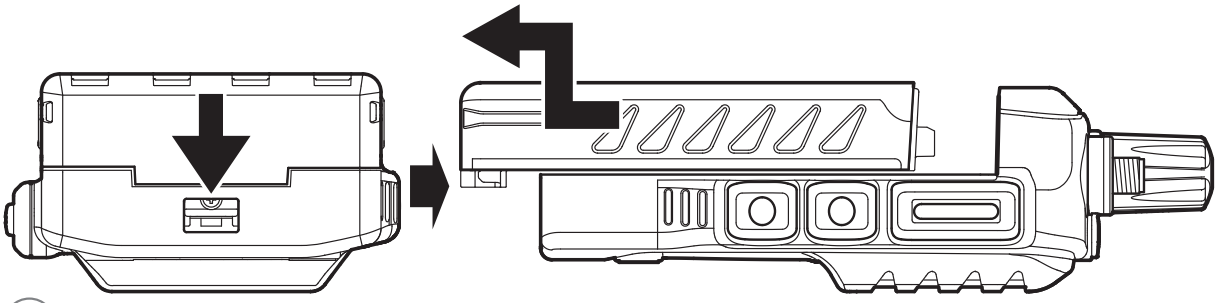
① 本機の電源が切れていることを確認します。

- 電源が入っているときは、**電源/音量ツマミ**を左（反時計方向）に回して本機の電源を切ります。



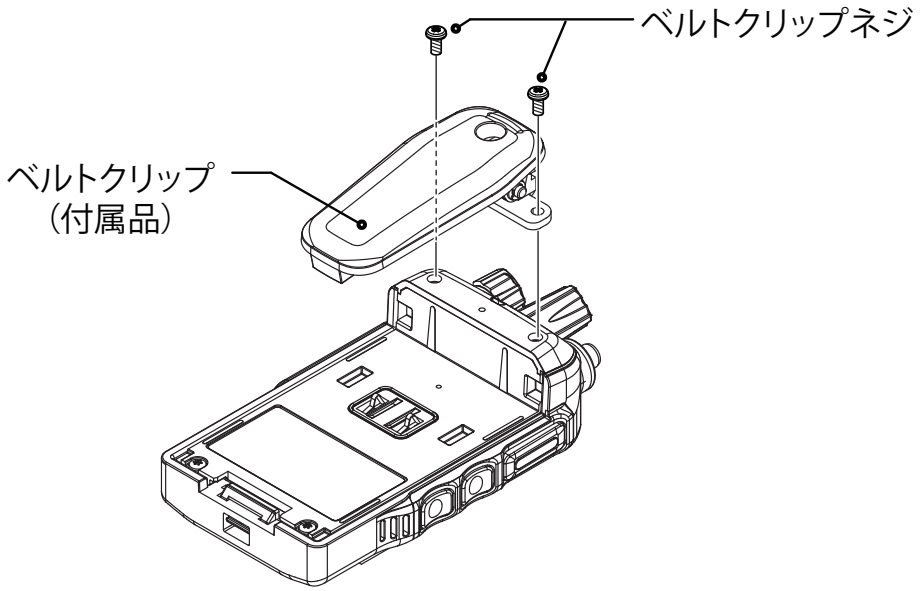
② 電池パックを取り外します。

- **バッテリーロックレバー**を下方（本機前面方向）へスライドし、その状態で電池パックを図の矢印の方向へスライドし、上方向に持ち上げて外します。



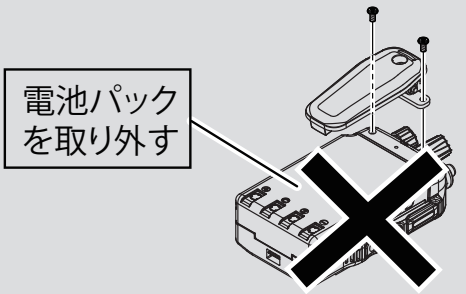
③ 本機にベルトクリップを取り付けます。

- ベルトクリップは必ず付属のベルトクリップネジ（M3ワッシャー付きネジ）で2ヶ所しっかり固定します。



⚠ 注 意

- ベルトクリップの取り付けには、必ず付属のM3ワッシャー付きネジを使ってください。他のネジは使わないでください。
- ネジがしっかりと締まっていることを確認してください。
  ネジが緩んだまま使用すると破損、故障の原因となります。
- ネジが傾いていないことを確認してください。
  ネジが傾いたまま使用すると破損、故障の原因となります。
- 必ず電池パックを取り外してからベルトクリップの取り付け作業を行ってください。
  電池パックを取り付けたままベルトクリップの取り付け作業を行うと、ネジを締める作業がしずらく、ネジの緩みや傾きの原因となります。

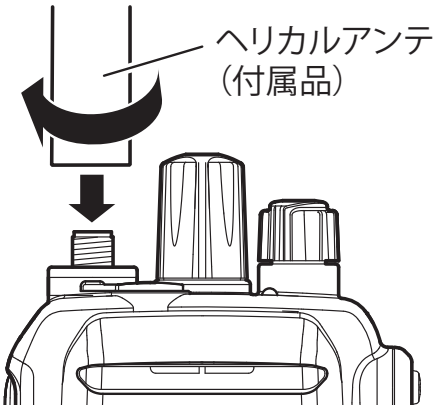


アンテナの取り付け

① 本機の電源が切れていることを確認します。

② 本機に付属のヘリカルアンテナを取り付けます。

- アンテナを真っ直ぐに本機のアンテナコネクターに取り付け、アンテナの根本を持って時計方向に回します。
- アンテナが、しっかりと止まるまで回し確実に取り付けます。



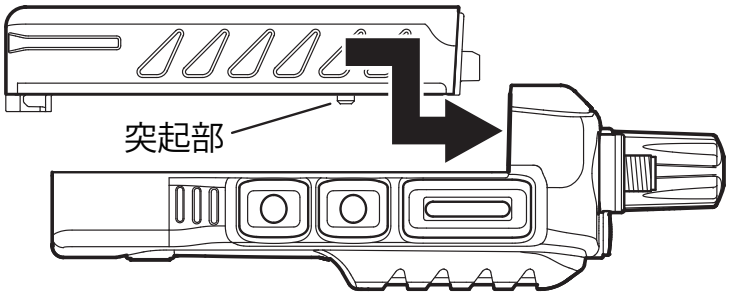
電池パックの取り付け

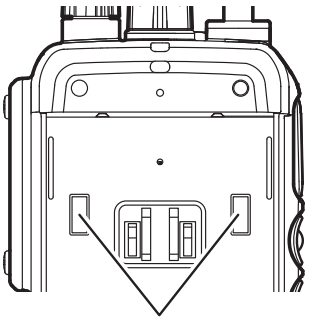
① 電池パックを十分に充電します。

② 本機の電源が切れていることを確認します。

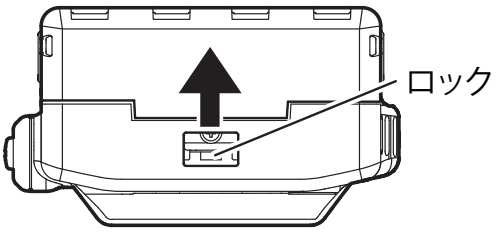
③ 本機に電池パックを取り付けます。

- 電池パックの突起部を本体背面の溝に合わせて、図の矢印の方向へスライドします。





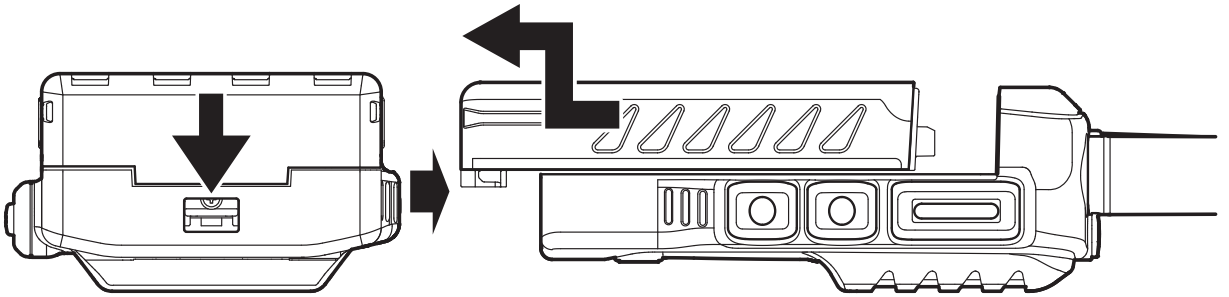
④ 電池パックのロックが上がり、「カチッ」と音がするのを確認します。



電池パックの取り外し

① 取り外す前には、本機の電源を切ります。

② バッテリーロックレバーを下方（本機前面方向）へスライドします。その状態で電池パックを図の矢印の方向へスライドし、上方向に持ち上げて外します。

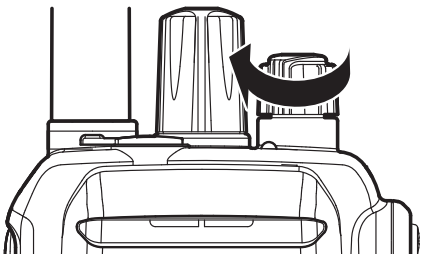


基本操作方法

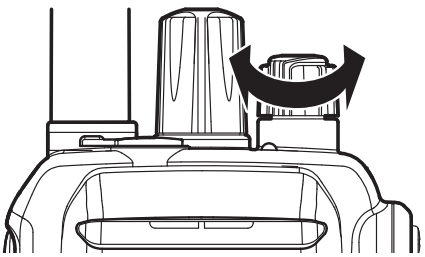
受信操作

① 「ご使用前の準備」の手順を行います。

② **電源/音量ツマミ**を右（時計方向）に回して本機の電源を入れます。



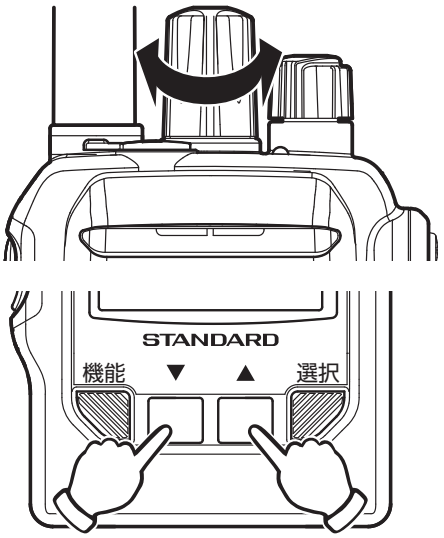
③ **電源/音量ツマミ**で音量を調節します。



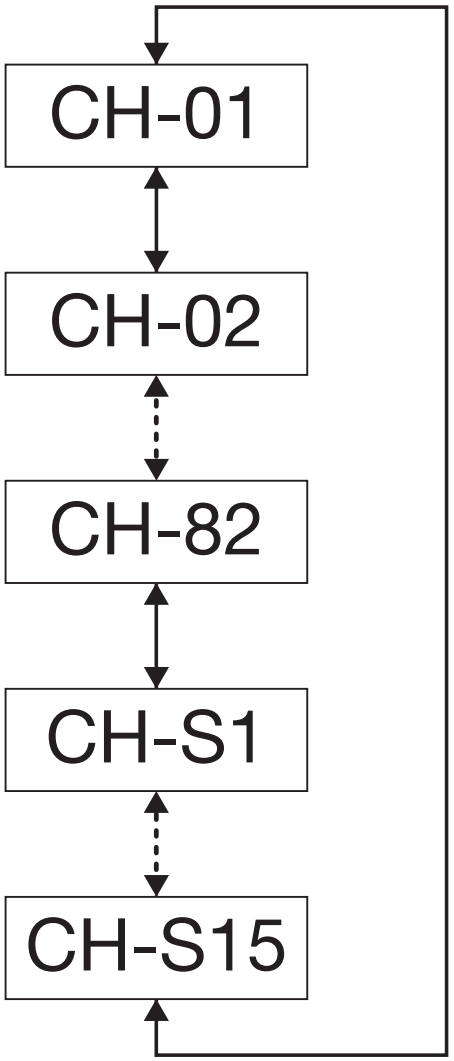
- **電源/音量ツマミ**を右（時計方向）に半分くらい回します。
- **P1（モニター）ボタン**を押すと「ザー」音が鳴りますので、その音を使って**音量ツマミ**を回して音量を調節してください。

④ **チャンネルセレクターツマミ**または**UP(▲)/DOWN(▼)ボタン**でチャンネルを選択します。

- 受信側と送信側は同じチャンネルを選択します。



チャンネルセレクターツマミを右（時計方向）に回す、または**UP(▲)ボタン**を押すとチャンネルがアップします。
チャンネルセレクターツマミを左（反時計方向）に回す、または**DOWN(▼)ボタン**押すとチャンネルがダウンします。



※ 82+15（上空）チャンネルを設定した場合

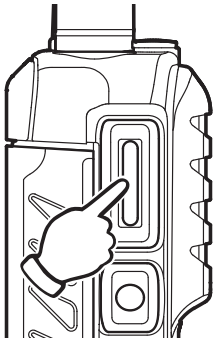
⑤ 信号を受信した時に、スピーカーからは相手局の音声が聞こえます。
- 受信中はTX/BUSY LEDが緑色に点灯します。

送信操作

① 「受信操作」の手順①～④までを行います。

② チャンネルをモニターして他局が使用していないことをよく確認します。

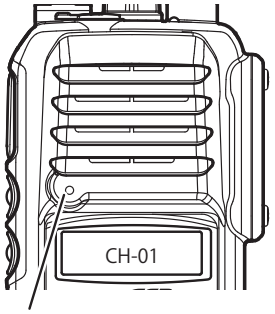
③ **PTT ボタン**を押します。



- 送信中は**TX/BUSY LED** が赤色に点灯します。
- **PTT ボタン**を押し続け、**マイクロホン**に向かって話します。

④ **マイクロホン**に向かってゆっくり、はっきりと話します。

- **マイクロホン**と口は約 5 cm 程度離してください。



⑤ 通話が終わったら、直ちに**PTT ボタン**を離します。

- **TX/BUSY LED** が消灯し、待ち受け状態になります。

⑥ 相手局からの応答を待ちます。

閉局

① 交信が終わり、閉局する場合は、その旨を相手局に伝えます。

② **電源/音量ツマミ** を左（反時計方向）に回し切って電源を切ります。

⚠ 注 意

- アンテナを装着しない状態では、送信しないでください。本機が故障する原因となることがあります。
- 電池パックの充電中は、本機の電源を切ってください。また、本機の操作をしないでください。電池パックの充電が完了しません。
- 電池パックの接続端子部は、きれいにしてご使用ください。電源がすぐ切れる原因となることがあります。
- 充電器は専用充電器をご使用ください。他の充電器を使用した場合、電池パックが故障する原因となることがあります。
- 電池パックは冷暗所で保管してください。温度が高い場所で、電池パックを保管すると、電池パックの自己放電が多くなります。

通話方式

通話方式にはUC通話と個別通話の2種類の方式があります。
初期設定は、UC通話でUC（ユーザコード）が000（オフ）に設定されています。

UC（ユーザーコード）通話

同じチャンネルで、同じUC（ユーザーコード）を設定している者同士が通話ができます。
UC（ユーザーコード）通話は、あらかじめ呼び出し設定モードでUC(ユーザーコード)を設定しておきます。

- UC（ユーザーコード）は000 ～ 511の設定が可能です。
- 初期値は000（オフ）に設定されています。000（オフ）設定の場合、受信時は001 ～ 511に設定している相手局の通話も受信できますが、送信時は同じく000（オフ）に設定をしている相手局としか通話ができません。
- UC通信方式はARIB規格で規定されており、種別コード「3R 3T」の他社のデジタル簡易無線機と互換性があります。

個別通話

同じチャンネルで、同じUC（ユーザーコード）を設定している者同士（オフでも可）の中で、特定の相手局の呼び出し、同じグループの呼び出しや一斉呼び出しを行い通話ができます。
個別通話は、あらかじめ呼び出し設定モードで自局の個別番号、グループ番号を設定しておきます。

- 個別番号は0001 ～ 9999の設定が可能です。
- グループ番号は01 ～ 99の設定が可能です。

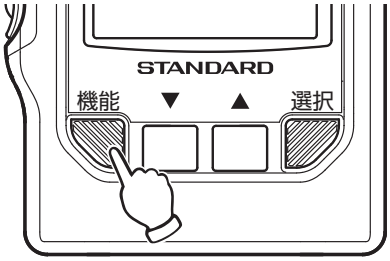
通話には次の3種類があります。

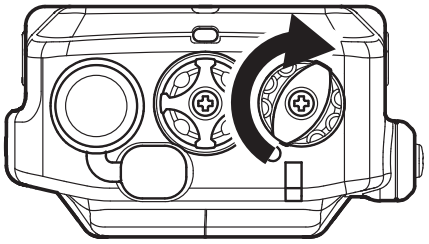
- 個別通話：1:1で通話します。
- グループ通話：同じグループに設定されている者同士が通話します。
- 一斉通話：全員と通話ができます。

通話方式の設定

■ UC通話から個別通話への切り替え

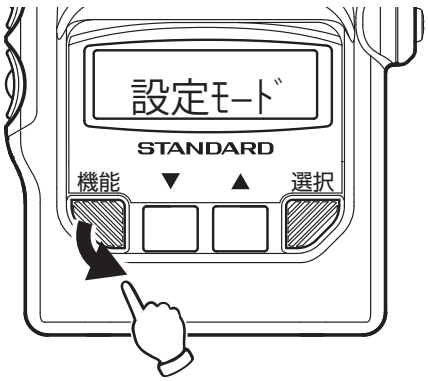
① **機能ボタン**を押したまま、**電源 / 音量ツマミ**を右（時計方向）に回し電源を入れます。

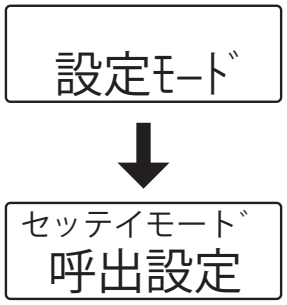




● 「設定モード」が表示されるまで、**機能ボタン**を押し続けてください。

② 「設定モード」が表示されたら、**機能ボタン**を離します。



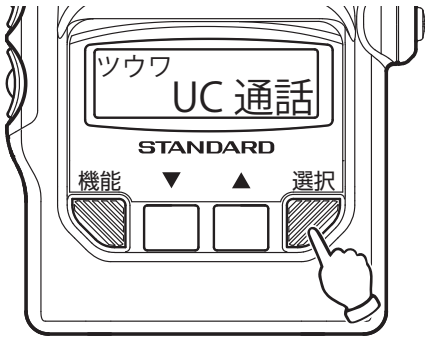


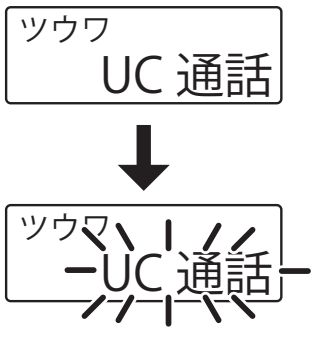
● **機能ボタン**を離すと、「セッテイモード　呼出設定」が表示されます。

③ **選択ボタン**を押します。

● **選択ボタン**を押すと現在の設定が表示されます。

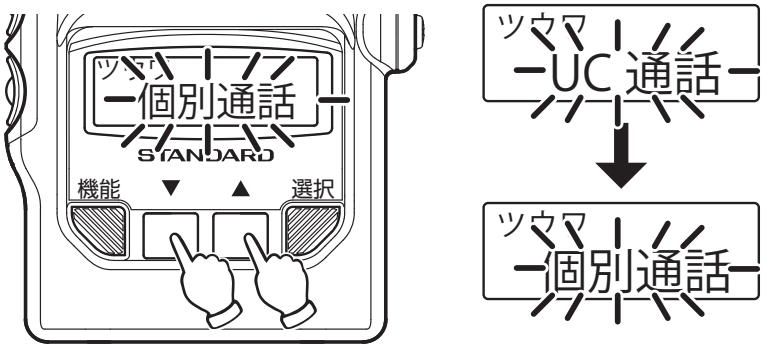
④ 再度、**選択ボタン**を押します。



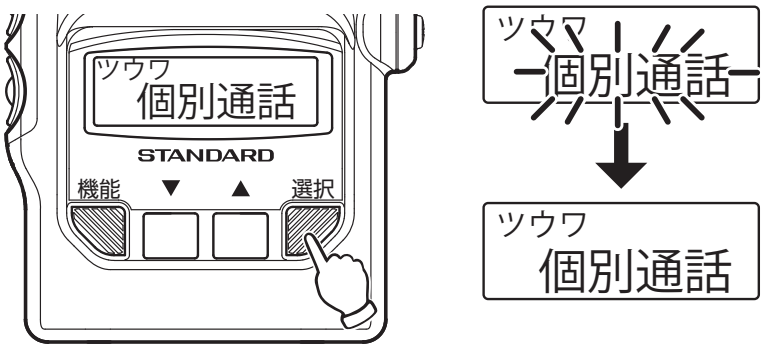


● **選択ボタン**を押した時に、「UC通話」が点滅します。

⑤ **UP（▲）**または**DOWN（▼）ボタン**を押して、「個別通話」を選択します。



⑥ **選択ボタン**を押して、「個別通話」を決定します。

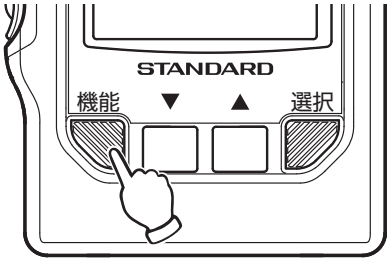


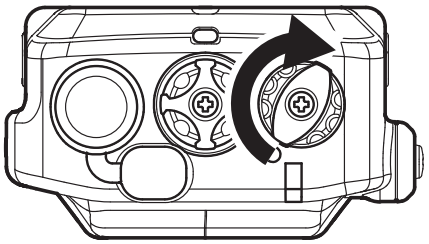
- 決定されると「個別通話」が点滅から点灯に変わります。

⑦ **電源 / 音量ツマミ**を左（反時計方向）に回し電源を切り、再度電源を入れます。
または**PTT ボタン**を長押しします。

■ 個別通話からUC通話への切り替え

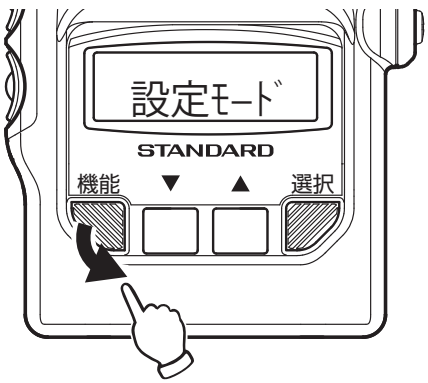
① **機能ボタン**を押したまま、**電源/音量ツマミ**を右（時計方向）に回し電源を入れます。

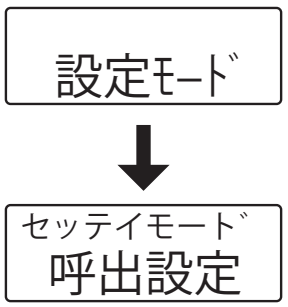




● 「設定モード」が表示されるまで、**機能ボタン**を押し続けてください。

② 「設定モード」が表示されたら、**機能ボタン**を離します。



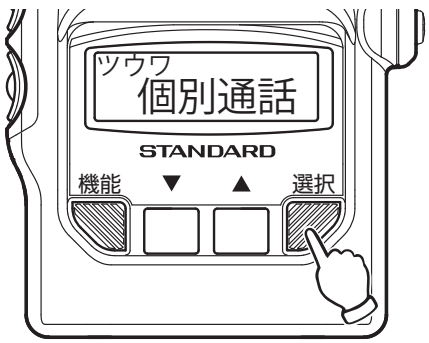


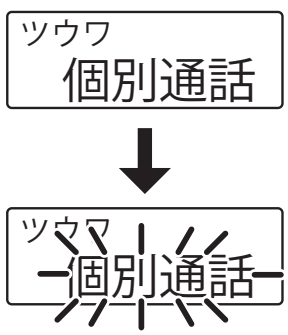
● **機能ボタン**を離すと、「セッテイモード　呼出設定」が表示されます。

③ **選択ボタン**を押します。

● **選択ボタン**を押すと、現在の設定が表示されます。

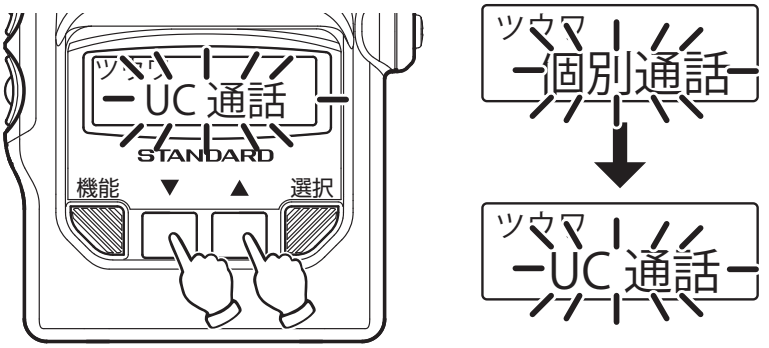
④ 再度、**選択ボタン**を押します。



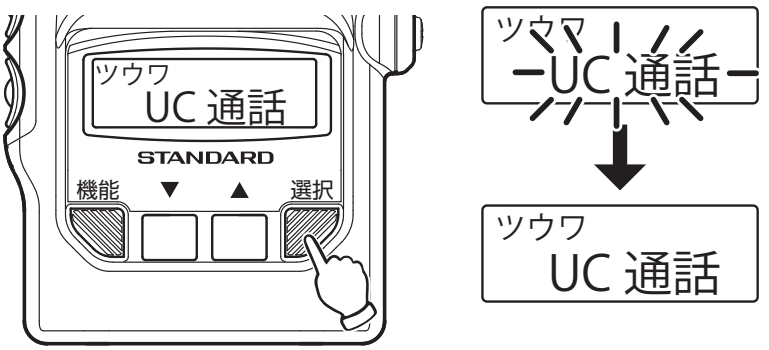


● **選択ボタン**を押した時に、「個別通話」が点滅します。

⑤ **UP (▲)** または **DOWN (▼)** ボタンを押して、「UC通話」を選択します。



⑥ **選択ボタン**を押して、「UC通話」を決定します。

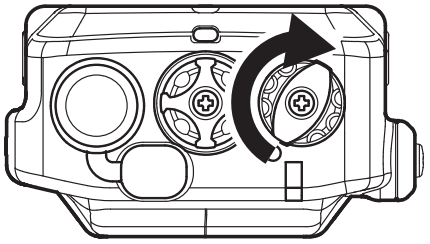


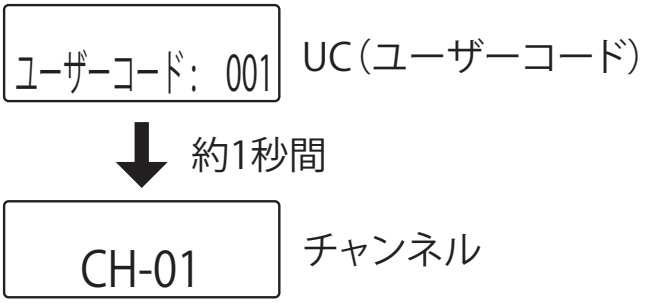
- 決定されると、「UC通話」が点滅から点灯に変わります。

⑦ **電源 / 音量ツマミ**を左（反時計方向）に回し電源を切り、再度電源を入れます。
または **PTT ボタン**を長押しします。

UC（ユーザーコード）通話での送信

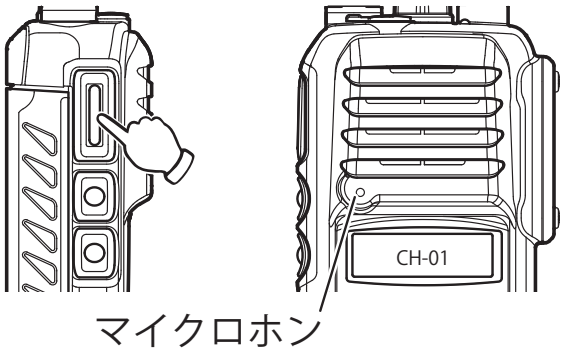
① **電源 / 音量ツマミ**を右（時計方向）に回し電源を入れます。





- UC（ユーザーコード）が約1秒間表示されます。その後チャンネルが表示されます。
- 受信側と同じUC（ユーザーコード）であることを確認します。

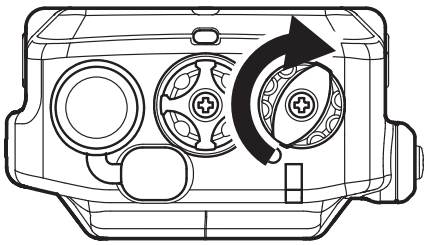
② **PTT ボタン**を押して、**マイクロホン**に向かって話します。

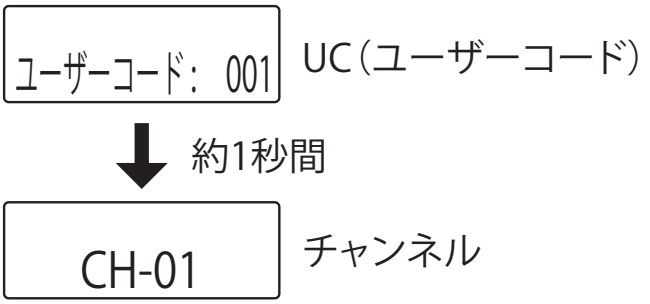


③ 相手局からの応答を待ちます。

UC（ユーザーコード）通話での受信

① **電源 / 音量ツマミ**を右（時計方向）に回し電源を入れます。





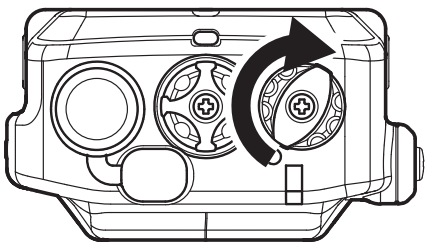
- UC（ユーザーコード）が約1秒間表示されます。その後チャンネルが表示されます。
- 送信側と同じUC（ユーザーコード）であることを確認します。

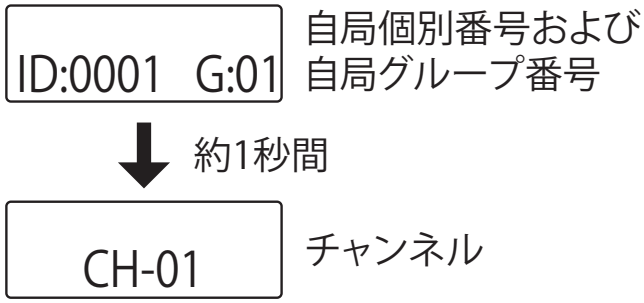
② 信号を受信した時に、スピーカーからは相手局の音声が聞こえます。

③ 相手局に応答します。

個別通話での送信

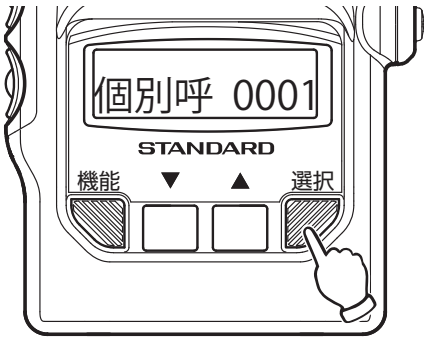
① **電源 / 音量ツマミ**を右（時計方向）に回し電源を入れます。



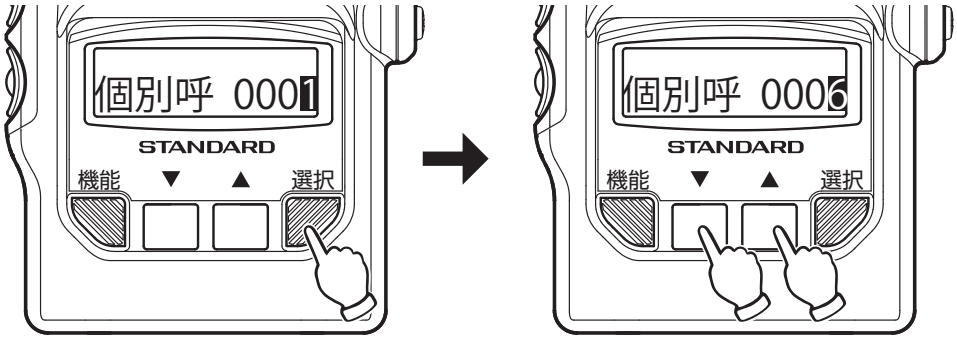


- 自局個別番号および自局グループ番号が約1秒間表示されます。その後チャンネルが表示されます。
- 受信側と異なる自局の個別番号であることを確認します。

② チャンネルが表示されたら、**選択ボタン**を押します。

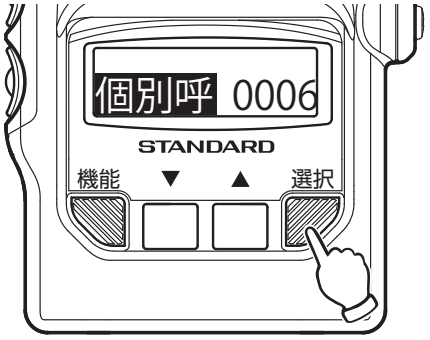


③ 再度**選択ボタン**を押し、**UP（▲）**または**DOWN（▼）ボタン**を押して、呼び出したい相手局の個別番号に合わせます。

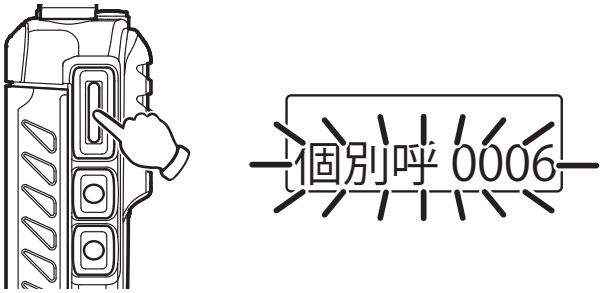


- **チャンネルセレクターツマミ**を回して、相手局の個別番号の桁を移動できます。
- ここでの手順で、呼び出し方法（一斉・グループ・個別）も変更できます。詳細は、「呼び出し方法の変更」をご覧ください。

④ **選択ボタン**を押して、相手局の個別番号を決定します。



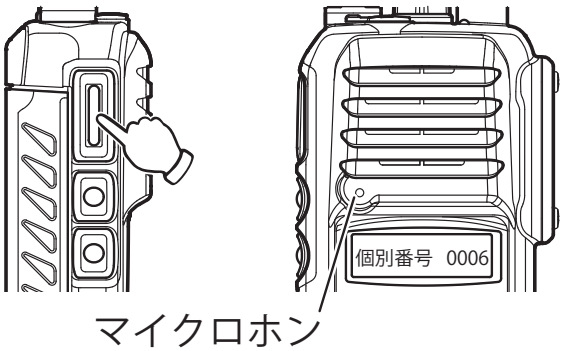
⑤ **PTT ボタン**を長押しします。



- 相手局へ呼び出し信号が送信されます。

⑥ 相手局から応答を待ちます。

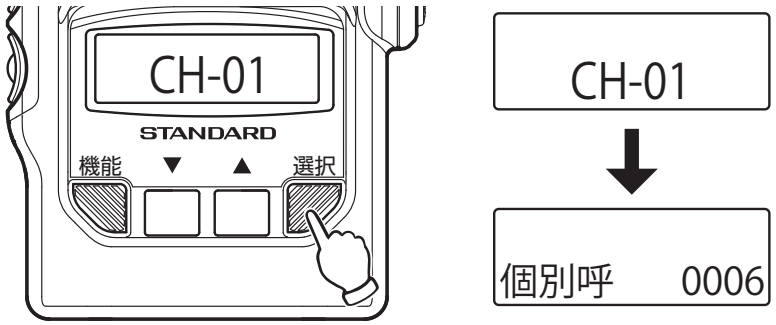
⑦ 相手局から応答がありましたら、**PTT ボタン**を押して、**マイクロホン**に向かって話します。



■ 呼び出し方法の変更

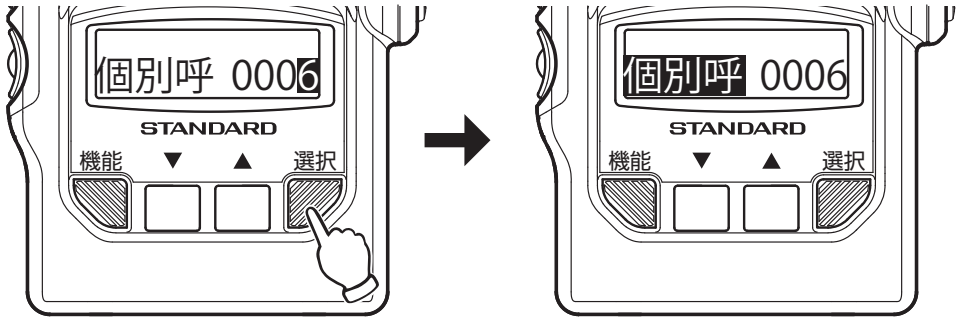
① 「個別通話での送信」(25 ページ) の手順①を行います。

② チャンネルが表示されたら、**選択ボタン**を押します。

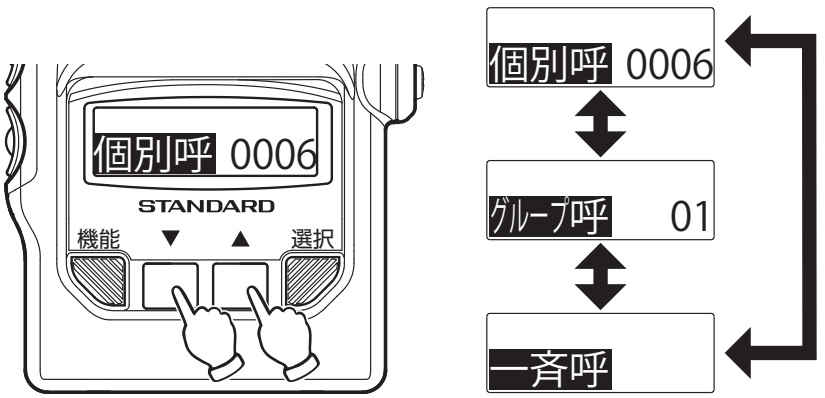


- 設定されている呼び出し方法と呼び出し先に設定した個別番号が表示されます。

③ 呼び出し先に設定した個別番号が表示されたら、**選択ボタン**を2回押します。



④ **UP (▲)** または **DOWN (▼) ボタン**を押して、呼び出し方法 (一斉・グループ・個別) を選択します。

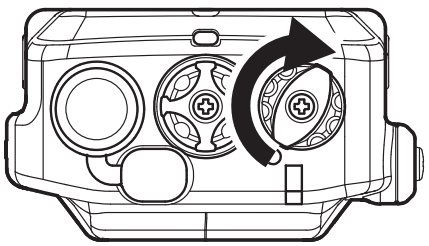


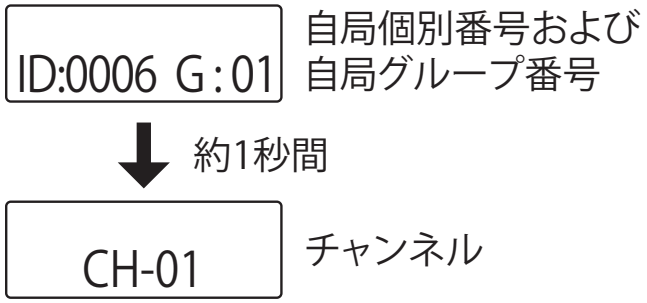
⑤ **選択ボタン**を押して、呼び出し方法を決定します。

⑥ **機能ボタン**を押すとチャンネル表示に戻ります。

個別通話での受信

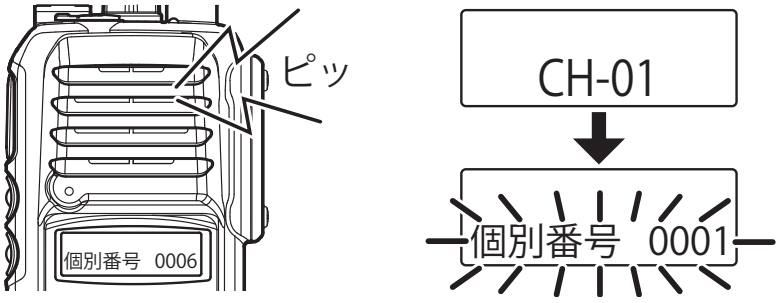
① **電源 / 音量ツマミ**を右（時計方向）に回し電源を入れます。



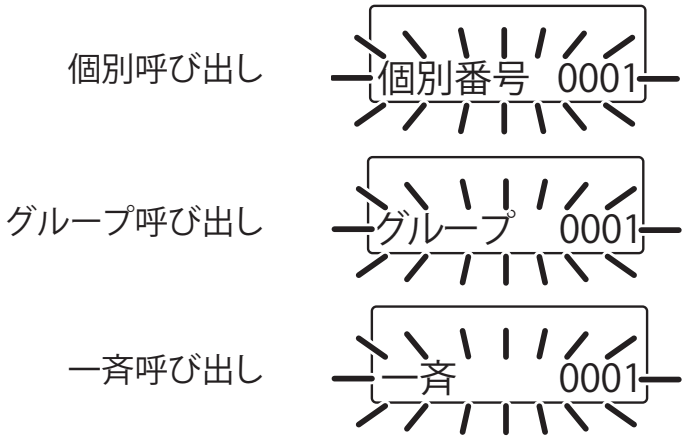


- 自局個別番号および自局グループ番号が約1秒間表示されます。その後チャンネルが表示されます。
- 送信側と異なる自局の個別番号であることを確認します。

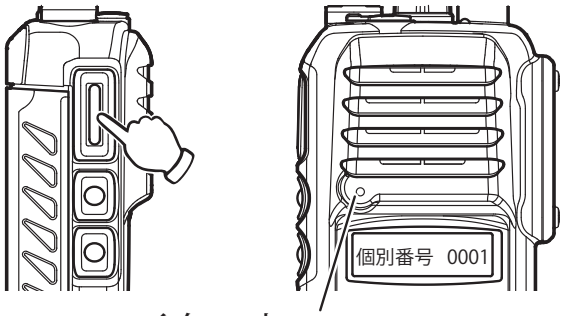
② 信号を受信したときに、呼び出されたことを示す「ピッ」音を確認します。



- 着信すると呼び出しの種類と発呼元の個別番号が同時に点滅表示されます。



③ **PTT ボタン**を押して、**マイクロホン**に向かって話します。



- 個別呼び出しで応答できなかった場合は、不在着信機能により「ピピ」音と発呼元の個別番号の点滅表示が継続して、不在着信状態になります。

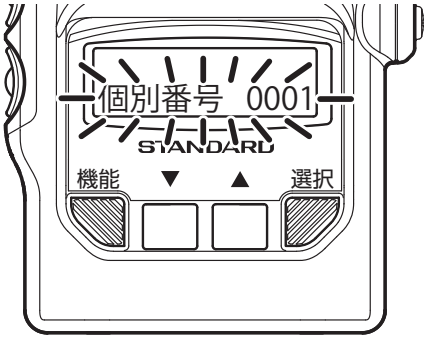
不在着信機能

他局からの個別呼び出しに応答できなかった場合、不在着信機能が動作します。
不在着信機能は、次のような動作をします。

- 不在着信の「ピピ」音が継続して鳴ります。
- 呼び出した発呼元の個別番号が点滅表示を継続します。
- 新しい不在着信があると、古い不在着信は消去されます。
- 一斉呼び出しまたはグループ呼び出しで着信した場合は、不在着信機能は動作しません。

※電源を切ると、不在着信は消去されます。

① 不在着信があったことを示す発呼元の個別番号が点滅していることを確認します。



② **PTT ボタン**を押して応答します。
③ 応答を行わずにチャンネル表示に戻るには、**機能ボタン**を2回押します。

応用操作方法

キーロック

通常運用時にキーロックのオンまたはオフを設定します。

① **DOWN（▼）ボタン**を長押しします。

- 「」（キーロックマーク）が表示され、キーロックが動作します。
- キーロック動作中に各ボタンを押すと「ブッ」音が鳴ると同時に「KEY LOCK」が表示されます。
- 本体の**電源/ 音量ツマミ**、**PTTボタン**および**セカンドPTTボタン**は、キーロック中でも使用できます。また、**P2ボタン**の長押し（エマジェンシー）も使用可能です。

② キーロックを解除するには、**DOWN（▼）ボタン**を長押しします。

- 「」（キーロックマーク）が消え、キーロックが解除されます。

UC（ユーザーコード）の設定

通常運用時にUC（ユーザーコード）の設定をします。

① **選択ボタン**を押します。

- UC（ユーザーコード）または呼び出し先に設定した個別番号が表示されます。

② **UP(▲)**または**DOWN(▼)ボタン**を何度か押して、「UC xxx」を表示させます。

- 「UC」と「ユーザーコード」が表示されます。
- 通話方式の設定が「UC通話」の場合は、**UP(▲)**または**DOWN(▼)ボタン**を押さなくても、最初に表示されます。

③ **選択ボタン**を押します。

- UC（ユーザーコード）の一桁目が変更できるようになります。
- **チャンネルセレクターツマミ**を回して、UC（ユーザーコード）の桁を移動できます。

④ **UP（▲）またはDOWN（▼）ボタン**を押して数値を変更します。
- UC（ユーザーコード）は、000 ～ 511の設定が可能です。
- 設定できないUC（ユーザーコード）を選択した場合は「ブッ」音が鳴り設定できません。

⑤ UC（ユーザーコード）を決定するには、**選択ボタン**を押します。

⑥ チャンネル表示に戻るには、**機能ボタン**を押します。

秘話機能のオン・オフ設定

通常運用時に秘話機能のオンまたはオフを設定します。

① **選択ボタン**を押します。
- UC（ユーザーコード）または呼び出し先に設定した個別番号が表示されます。

② **UP（▲）またはDOWN（▼）ボタン**を何度か押して、「秘話 OFF」または「秘話 ON」を表示させます。
- 「秘話」と秘話の設定が表示されます。

③ **選択ボタン**を押します。
- 秘話のオンとオフを切り替えることができるようになります。

④ **UP（▲）またはDOWN（▼）ボタン**を押して、秘話のオン（ON）とオフ（OFF）を切り替えます。

⑤ 秘話機能の設定を決定するには、**選択ボタン**を押します。
- チャンネル表示に戻ります。

秘話鍵の設定

通常運用時に秘話鍵を設定します。

- 秘話機能がオン設定の場合のみ秘話鍵の設定が可能です。
- 秘話機能がオフ設定の場合は、この項目は表示されません。

① **選択ボタン**を押します。

② **UP(▲)**または**DOWN(▼)ボタン**を何度か押して、「秘話 xxxxx」を表示させます。
- 「秘話」と「鍵番号」が表示されます。

③ **選択ボタン**を押します。
- 鍵番号の一桁目が変更できるようになります。
- **チャンネルセレクターツマミ**を回して、鍵番号の桁を移動できます。

④ **UP(▲)**または**DOWN(▼)ボタン**を押して数値を変更します。
- 秘話鍵は00001 ～ 32767の設定が可能です。
- 設定できない秘話鍵を選択した場合は「ブッ」音が鳴り設定できません。

⑤ 秘話鍵を決定するには、**選択ボタン**を押します。

⑥ チャンネル表示に戻るには、**機能ボタン**を押します

通話内容の録音（ボイス録音）

通常運用時に相手局との通話内容（受信内容）を録音することができます。

- **P1ボタン**にエマジェンシーまたはセカンドPTTボタンをを割り当てた場合は、この機能は動作しません。

① 受信中に**P1ボタン**を長押し（ボイス録音）します。
- 通話内容の録音が始まります。
  「 」（録音マーク）が点滅を始めます。
- 受信を終了した5秒後に自動的に録音が停止します。
  「 」（録音マーク）が消えます。
- ここで録音した内容は、ボイスサイセイとして、録音内容を確認できます。
- ここで録音した内容は、ボイスメッセージとして、録音内容を送信することができます。
- 録音は、最大10件まで可能です。1件あたりの最長録音時間は約60秒です。

便利な機能の呼び出し

通常運用時に便利な機能を呼び出します。

① **機能ボタン**を押します。

- 「プレイバックデータ　ナシ」または「プレイバックデータ　アリ」が表示されます。

② **UP（▲）**または**DOWN（▼）ボタン**を押して、目的の項目を選択します。

③ 必要に応じて**チャンネルセレクターツマミ**を回して、内容を選択します。

④ **選択ボタン**を押します。

※ 選択項目と機能内容の詳細は、以下の一覧表をご参照ください。

⑤ チャンネル表示に戻るには、**機能ボタン**を押します。

選択項目および表示例	機能内容および操作方法
プレイバックデータ再生 プレイバックデータ ナシ	■「プレイバックデータ　ナシ」表示時：プレイバックデータなし **選択ボタン**を押す→「ブッ」音（無効ビープ音） ■「プレイバックデータ　アリ」表示時：プレイバックデータあり **選択ボタン**を押す→録音内容再生 ● 電源を切ると、録音内容は消去されます。 ● **機能ボタン**を押すと、チャンネル表示に戻ります。
ボイス再生 ボイスサイセイ　　ナシ	**P1 ボタン**を長押して録音した相手局の音声（ボイス録音）を再生します。 ■「ボイスサイセイ　ナシ」表示時：ボイス録音なし ■「ボイスサイセイ　XX」表示時：ボイス録音あり （XXはボイス録音の番号を示します。ボイス録音の番号は01 ～ 10です。） **チャンネルセレクターツマミ**を回す→ボイス録音番号の切り替え **選択ボタン**を押す→録音内容再生 ● 電源を切っても、録音内容は消去されません。 ● **機能ボタン**を押すと、チャンネル表示に戻ります。

選択項目および表示例	機能内容および操作方法
ボイスメッセージ ボイスメッセージ　ナシ	ボイス録音の内容を送信することができます。 ■「ボイスメッセージ　ナシ」表示時：ボイス録音なし ■「ボイスメッセージ　XX」表示時：ボイス録音あり （XXはボイス録音の番号を示します。ボイス録音の番号は01 ～ 10です。） **チャンネルセレクターツマミ**を回す→ボイス録音番号の切り替え **選択ボタン**は使用しない **PTTボタン**を押す→録音内容送信→チャンネル表示に戻る→**PTTボタン**を離す ● 録音内容の送信を終えると自動的にチャンネル表示に戻ります。 ● 電源を切っても、録音内容は消去されません。 ● **機能ボタン**を押すと、チャンネル表示に戻ります。
着信履歴 着信履歴	着信履歴を表示できます。 **チャンネルセレクターツマミ**を回す→着信履歴の切り替え ● 電源を切ると、着信履歴は消去されます。 ● **機能ボタン**を押すと、チャンネル表示に戻ります。
発信履歴 発信履歴	発信履歴を表示できます。 **チャンネルセレクターツマミ**を回す→発信履歴の切り替え ● 電源を切ると、発信履歴は消去されます。 ● **機能ボタン**を押すと、チャンネル表示に戻ります。

選択項目および表示例	機能内容および操作方法
ショートメッセージ送信 ショートメッセージTX	ショートメッセージを送信できます。 **選択ボタン**を何度か押す。または**チャネルセレクターツマミ**を回す→ショートメッセージの切り替え **PTT ボタン**を長押し→ショートメッセージ送信→呼び出し方法とショートメッセージが交互に表示→チャンネル表示に戻る ● 使用可能なショートメッセージは以下のようになります。 - 緊急事態デス - 連絡クダサイ - 急イデクダサイ - 集合シテクダサイ - 作業中デス - 出発シマシタ - 到着シマシタ - 開始シマシタ - 終了シマシタ - 了解シマシタ ● ショートメッセージの送信を終えると自動的にチャンネル表示に戻ります。 ● 電源を切ったり、初期化しても、設定されているショートメッセージは消去されません。 ● **機能ボタン**を押すと、チャンネル表示に戻ります。
ショートメッセージ履歴 ショートメッセージリレキ	ショートメッセージの着信履歴を表示できます。 **選択ボタン**を何度か押す。または**チャネルセレクターツマミ**を回す→ショートメッセージの着信履歴の切り替え ● 電源を切ると、ショートメッセージ履歴は消去されます。 ● **機能ボタン**を押すと、チャンネル表示に戻ります。

● ▭ の項目は、呼び出し設定モードにて通話方式が「個別通話」を選択しているときに表示されます。

スキャン機能

スキャン機能は、メモリースキャンとセカンドチャンネルスキャンの2種類があり、どちらかを選択できます。
メモリースキャンは、スキャン対象に設定した複数チャンネルを順番に切り替えて信号のあるチャンネルを自動的に受信します。
セカンドチャンネルスキャンは、現在の通話チャンネルとセカンドPTTチャンネルに設定したチャンネルを交互に切り替えて信号のある方のチャンネルを自動的に受信します。

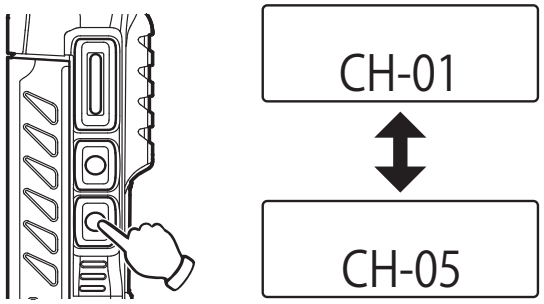
アドバイス

- スキャン機能は、UC通話での使用が可能です。
- スキャン機能は、個別通話では使用できません。
- スキャン機能を使うには、設定ツールソフトであらかじめスキャン対象チャンネルやセカンドPTTチャンネルなどを設定しておく必要があります。
- スキャン動作中は、**機能ボタン**、**選択ボタン**および**モニターボタン**などは無効になります。

■ スキャン動作

① **P2（スキャン）ボタン**を押します。

- あらかじめ設定したスキャン動作を行います。
  ※ スキャン対象チャンネルをCH-01とCH-05に設定した場合



② スキャン動作を停止するには、再度**P2（スキャン）ボタン**を押します。

③ 信号を受信してスキャンポーズ中に受信チャンネルをスキップして、スキャンを再開したい場合は、**UP（▲）**または**DOWN（▼）ボタン**を押します。

エマジェンシー機能

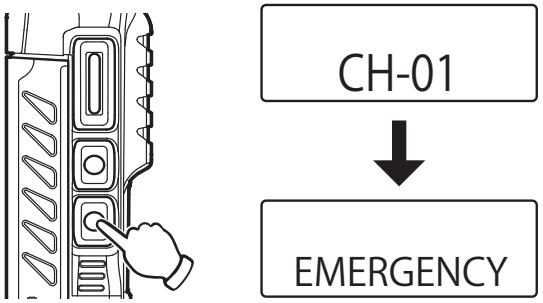
エマジェンシー機能は、白色LED点滅と大きなアラーム音にて周囲に知らせたり、緊急信号を送信して緊急事態を相手局に通知します。次の動作から選択が可能です。

- 大きな音でアラーム音を鳴らします。
- 同一グループ内で緊急信号の送受信を行います。
- 大きな音でアラーム音を鳴らすと同時に、緊急信号の送受信を行います。

※緊急信号の送受信を行うには通話方式が個別通話である必要があります。
UC通話の場合は緊急信号なしで送信するため、受信側はエマジェンシー動作になりません。

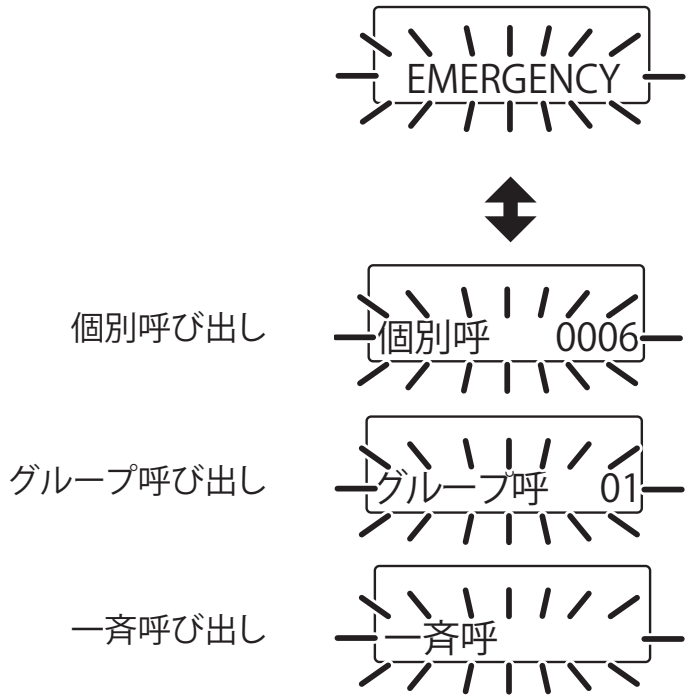
■ エマジェンシーの起動

① 表示部に「EMERGENCY」が表示されるまで、P2 **ボタン**を長押し（エマジェンシー）します。



- 白色LEDが点滅表示をします。
- 設定されたエマジェンシー動作（アラーム音の鳴動、緊急信号の送信）をします。

● 「EMERGENCY」と「呼び出しモード（一斉・グループ・個別）」が交互に表示されます。緊急信号なしで送信の場合は「EMERGENCY」とチャンネルが交互に表示されます。



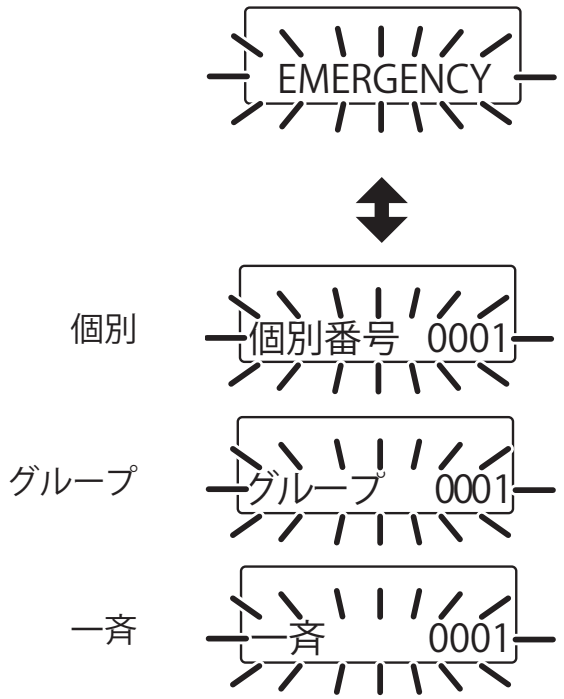
② 通常の操作に戻るには、**P2 ボタン**を長押し（エマジェンシー）します。

● **P2 ボタン**を長押し（エマジェンシー）して、エマジェンシー機能を解除するまでは一定時間ごとに緊急信号の送信を繰り返します。

■ エマジェンシーの受信

① 緊急信号を受信すると、以下のエマジェンシー動作を行うことを確認します。

- 白色LEDが点滅し、大きなアラーム音が鳴ります。
- 「EMERGENCY」と「呼び出しモード（一斉・グループ・個別）と発呼元の個別番号」が交互に表示されます。



② **PTTボタン**を押すと自動的に受信した呼び出しモードで応答できます。

- この後は通常の個別通話と同様の動作で通話を続けることができます。
- 送信側がエマジェンシー機能を解除していない場合、一定時間ごとに緊急信号の送信を繰り返すため、受信側も緊急信号を繰り返し受信することになります。

✍アドバイス

- 送信側は通常の通信を行うには、**P2ボタン**を長押し（エマジェンシー）して、エマジェンシー機能を解除してください。
- 送信側がエマジェンシー機能を解除していない場合、受信側は通常の通話をすることができません。

セカンドPTT機能

セカンドPTT機能は、現在の通話チャンネルとは別にセカンドPTTチャンネルを設定することにより、**セカンドPTTボタン**によってチャンネルの変更操作をすることなく、別のチャンネルで送信・通話をすることができます。
セカンドPTT機能はセカンドチャンネルスキャンと併用すると、より使い勝手が向上します。
セカンドPTTチャンネルは通常の各チャンネルごとに1つずつ設定ができます。

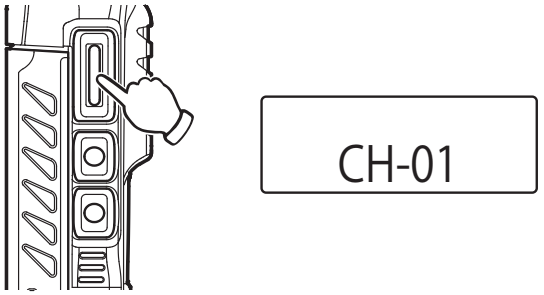
✍アドバイス

- セカンドPTT機能を使うには、設定ツールソフトであらかじめ設定しておく必要があります。

■ セカンドPTT動作

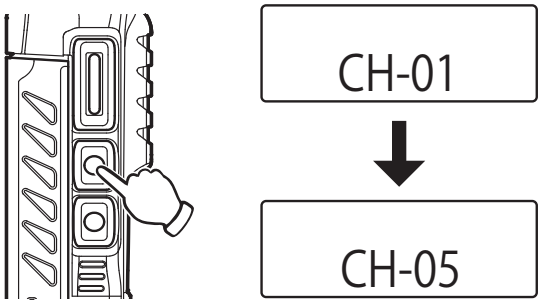
① 通常チャンネルで送信するには、**PTTボタン**を押します。

- CH-01で送信します。



② セカンドPTTチャンネルで送信するには、**P1（セカンドPTT）ボタン**を押します。

- あらかじめ**P1ボタン**にセカンドPTT機能をCH-01のセカンドPTTチャンネルにCH-05を割り当てた場合は、CH-01に変わりCH-05で送信します。

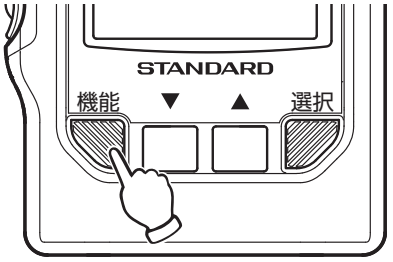


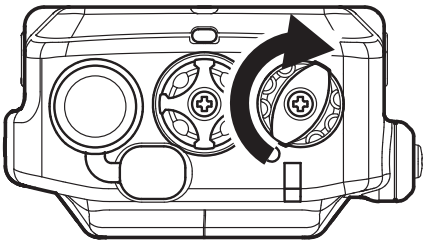
設定の変更方法

設定手順の基本

■ 設定モードの選択方法

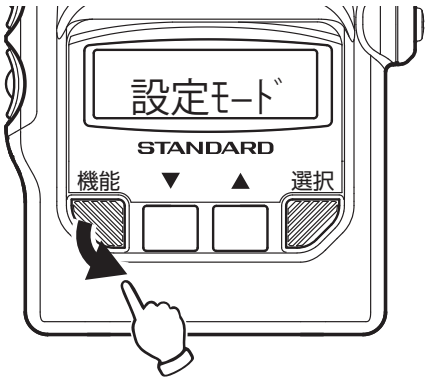
① **機能ボタン**を押したまま、**電源 / 音量ツマミ**を右（時計方向）に回し電源を入れます。

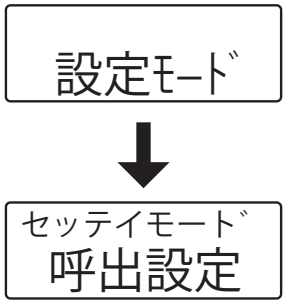




- 「設定モード」が表示されるまで、**機能ボタン**を押し続けてください。
- 「設定モード」が表示される前に、**機能ボタン**を離すと、通常の起動となります。

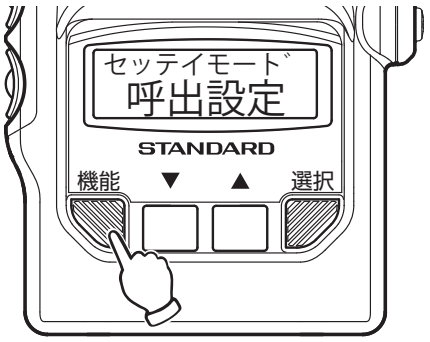
② 「設定モード」が表示されたら、**機能ボタン**を離します。





- 「セッテイモード　呼出設定」が表示されます。

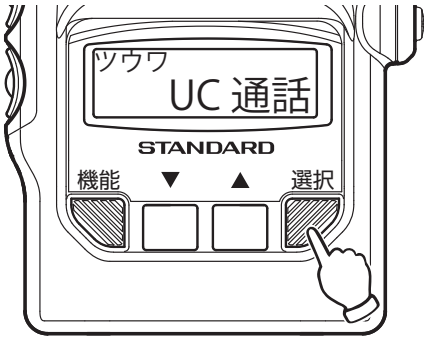
③ 設定モードを切り替えるには、**機能ボタン**を押します。



● **機能ボタン**を押すたびに、設定モードは以下のように切り替われます。

呼出設定 → 機能設定 → ｾｯﾄ管理番号

④ 選択した設定モードを決定するには、**選択ボタン**を押します。



（呼び出し設定で**選択ボタン**を押した場合）

（機能設定で**選択ボタン**を押した場合）

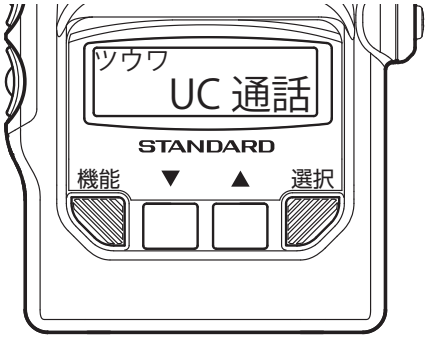
（セット管理番号で**選択ボタン**を押した場合）

● 各設定モードの最初の項目が表示されます。

⑤ 設定を終了するには、**電源 / 音量ツマミ**を左（反時計方向）に回し電源を切り、再度電源を入れます。
または**PTT ボタン**を長押しします。

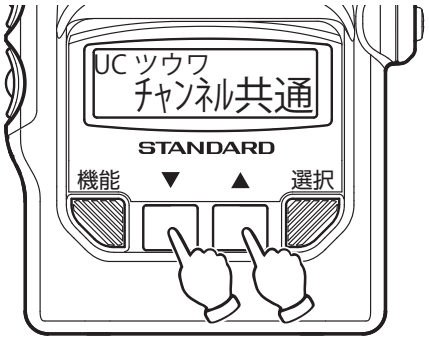
■ 設定項目の選択・設定方法

① 「設定モードの選択方法」を行い、設定モードを決定します。

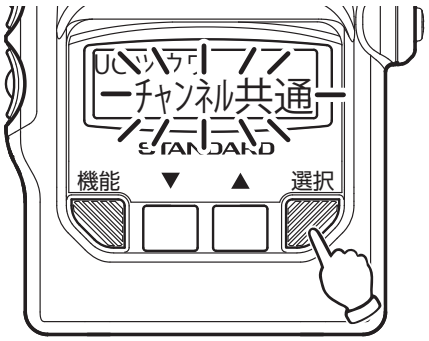


- 各設定モードの最初の項目が表示されます。

② **UP（▲）**または**DOWN（▼）ボタン**を押して、目的の項目を選択します。

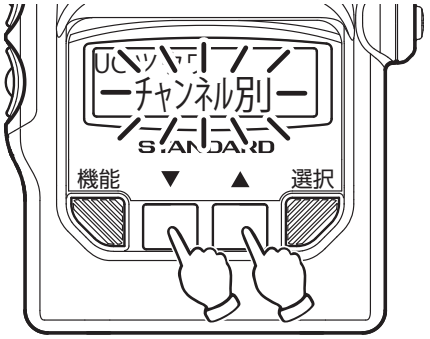


③ 選択した項目を決定するには、**選択ボタン**を押します。

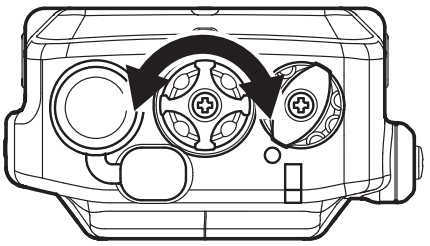


- 変更する項目が点滅します。

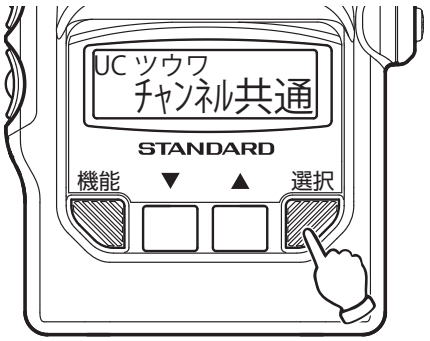
④ **UP（▲）**または**DOWN（▼）ボタン**を押して、項目の設定値または設定内容を変更します。また、UC（ユーザーコード）や個別番号、グループ番号、秘話鍵などを選択する場合は、**チャンネルセレクターツマミ**を回して桁移動を行います。



- 変更する項目は点滅のままです。



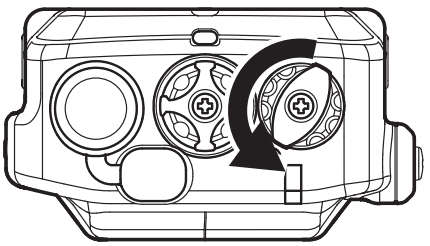
⑤ 変更した内容を決定するには、**選択ボタン**を押します。



- 「ピッピッ」と音が鳴って変更が決定されます。
- 変更した項目が点滅から点灯に変わります。

⑥ 他の項目を選択するには、手順②から同様の操作を行います。

⑦ 設定を終了するには、**電源 / 音量ツマミ**を左（反時計方向）に回し電源を切り、再度電源を入れます。
または**PTT ボタン**を長押しします。



呼び出し設定モード

■ 呼び出し設定モードでの設定変更方法

① **機能ボタン**を押したまま、**電源 / 音量ツマミ**を右（時計方向）に回し電源を入れ、「設定モード」が表示されたら、**機能ボタン**を離します。

- 「セッテイモード　呼出設定」が表示されます。

※ 設定モードの選択方法の詳細は、「設定モードの選択方法」をご覧ください。

② **選択ボタン**を押します。

- 「ツウワ　UC通話」または「ツウワ　個別通話」が表示されます。

③ 再度、**選択ボタン**を押します。

- 表示が点滅に変わります。

④ **UP（▲）**または**DOWN（▼）ボタン**を押して目的の項目を選択し、**選択ボタン**を押して決定します。

⑤ 以下の項目の設定値または設定内容を**UP（▲）**または**DOWN（▼）ボタン**を押して項目を選択し、**選択ボタン**を押して決定します。

※ 設定項目の選択方法の詳細は、「設定項目の選択・設定方法」をご覧ください。
選択項目と選択内容の詳細は、以下の一覧表をご参照ください。

⑥ 設定を終了するには、**電源 / 音量ツマミ**を左（反時計方向）に回し電源を切り、再度電源を入れます。
または**PTT ボタン**を長押しします。

選択項目および表示例	選択内容	初期値
通話方式 ツウワ UC通話	UC通話⇆個別通話 （**選択ボタン**を押す［点滅］、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定） ● UC（ユーザーコード）通話 同じチャンネル、UC（ユーザーコード）を設定している相手局と通話ができる方式です。 ● 個別通話 同じチャンネル、UC（ユーザーコード）を設定している特定の相手局やグループのみを呼び出して通話できる方式です。	UC通話

選択項目および表示例	選択内容	初期値
UC（ユーザーコード） 通話方式 UCツウワ チャンネル共通	チャンネル共通⇆チャンネル別 (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● チャンネル共通 全てのチャンネルでUC（ユーザーコード）を共通にします。 ● チャンネル別 各チャンネルごとにUC（ユーザーコード）を設定します。	チャンネル共通
UC（ユーザーコード） 通話コード UCツウワ ユーザーコード 000	000⇆001 … 510⇆511 (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で1ずつ増減、**チャンネルセレクターツマミ**で桁移動、**選択ボタン**で決定) ● 設定できるユーザーコードは511までです。 ● 設定できないコード番号を選択しても「ブッ」音が鳴り設定できません。 ● 上記をチャンネル別に設定した場合、この項目は表示されません。	000 (OFF)
自局 個別番号 ジキョクID 個 別 番 号 0001	0001⇆0002 … 9998⇆9999 (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で1ずつ増減、**チャンネルセレクターツマミ**で桁移動、**選択ボタン**で決定) ● 設定できる自局の個別番号は9999までです。 ● 0000は個別番号に設定できません。	0001
自局 グループ番号 ジキョクID グループ番号 01	01⇆02 … 98⇆99 (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で1ずつ増減、**チャンネルセレクターツマミ**で桁移動、**選択ボタン**で決定) ● 設定できる自局のグループ番号は99までです。 ● 00はグループ番号に設定できません。	01

選択項目および表示例	選択内容	初期値
秘話 ヒワ チャンネル共通	チャンネル共通⇆チャンネル別 (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● 設定した秘話鍵が一致する相手局のみ交信できる機能です。 ● 秘話機能を使用する場合、秘話鍵の設定および秘話機能をオンにする必要があります。 ● チャンネル共通 全てのチャンネルで秘話鍵を共通にします。 ● チャンネル別 各チャンネルごとに秘話鍵を設定します。	チャンネル共通
秘話鍵 ヒワ 秘 話 鍵 00001	00001⇆00002… 32766⇆32767 (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で1ずつ増減、**チャンネルセレクターツマミ**で桁移動、**選択ボタン**で決定) ● 設定できる秘話鍵は32767までです。 ● 設定できない鍵番号を選択しても「ブッ」音が鳴り設定できません。 ● 00000は秘話鍵に設定できません。 ● 上記をチャンネル別に設定した場合、この項目は表示されません。	00001
UC通話着信ビープ ツウワビープ UC着 信 0回	0回⇆1回⇆2回⇆ (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● 着信時のビープ音の回数を設定します。	0回
個別通話着信ビープ ツウワビープ 個 別 着 信 1回	1回⇆2回⇆0回⇆ (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● 着信時のビープ音の回数を設定します。	1回
グループ通話着信ビープ ツウワビープ グループ着信 1回	1回⇆2回⇆0回⇆ (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● 着信時のビープ音の回数を設定します。	1回

選択項目および表示例	選択内容	初期値
一斉通話着信ビープ ツウワビープ 一 斉 着 信　1回	1回⇆2回⇆0回⇆ (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● 着信時のビープ音の回数を設定します。	1回
不在着信ビープ ツウワビープ 不 在 着 信　5秒	5秒⇆20秒⇆連続⇆OFF⇆ (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● 不在着信時のビープ鳴動の間隔時間を設定します。	5秒
エマジェンシーモード エマジェンシー モード　ビープ	OFF⇆ビープ/ソウシン⇆ソウシン⇆ビープ⇆ (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● エマジェンシー機能の動作を設定することができます。 ビープ：緊急アラーム音が鳴動します。 ソウシン：自局の個別番号を含んだ緊急信号を送信します。 ※UC通話の場合は緊急信号なしで送信します。 ビープ/ソウシン：上記2つの動作を行います。	ビープ
エマジェンシー宛先 エマジェンシー 宛 先　一 斉	一斉⇆個別⇆グループ⇆ (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● 緊急信号の送信先を選択します。	一斉
エマジェンシー個別呼 エマジェンシー 個 別 呼　9999	0001⇆0002 … 9998⇆9999 (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で1ずつ増減、**チャンネルセレクターツマミ**で桁移動、**選択ボタン**で決定) ● エマジェンシー宛先を個別に選択した場合の個別番号を選択します。 ● 設定できるエマジェンシー宛先の個別番号は9999までです。 ● 0000はエマジェンシー宛先の個別番号に設定できません。	9999

- 　　の項目は、通話方式が「個別通話」を選択しているときに表示されます。
- 　　の項目は、通話方式が「UC通話」を選択しているときに表示されます。

機能設定モード

■ 機能設定モードでの設定変更方法

① **機能ボタン**を押したまま、**電源 / 音量ツマミ**を右（時計方向）に回し電源を入れ、「設定モード」が表示されたら、**機能ボタン**を離します。
- 「セッテイモード　呼出設定」が表示されます。

※ 設定モードの選択方法の詳細は、「設定モードの選択方法」をご覧ください。

② **機能ボタン**を押して、「セッテイモード　機能設定」が表示されたら、**選択ボタン**を押します。
- 「パワー　送信出力 HI」または「パワー　送信出力 LOW」が表示されます。

③ 再度、**選択ボタン**を押します。
- 表示が点滅に変わります。

④ **UP（▲）**または**DOWN（▼）ボタン**を押して目的の項目を選択し、**選択ボタン**を押して決定します。

⑤ 以下の項目の設定値または設定内容を**UP（▲）**または**DOWN（▼）ボタン**を押して項目を選択し、**選択ボタン**を押して決定します。

※ 設定項目の選択方法の詳細は、「設定項目の選択・設定方法」をご覧ください。
選択項目と選択内容の詳細は、以下の一覧表をご参照ください。

⑥ 設定を終了するには、**電源 / 音量ツマミ**を左（反時計方向）に回し電源を切り、再度電源を入れます。
または**PTT ボタン**を長押しします。

選択項目および表示例	選択内容	初期値
送信出力 パワー 送 信 出 力　HI	HI⇆LOW （**選択ボタン**を押す［点滅］、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定） ● 送信出力の設定を行います。	HI
内部マイク感度 マイクカンド 内　部　0.0dB	-9.0dB⇆-7.5dB⇆・・・⇆-1.5dB⇆0.0dB⇆+1.5dB⇆・・・⇆+7.5dB⇆+9.0dB （**選択ボタン**を押す［点滅］、▲/▼で1.5dBずつ増減、**選択ボタン**で決定） ● 無線機本体の内部マイクの感度を設定します。 ● マイクの感度は以下のようになります。 -9.0dB（低）⇆・・・⇆0.0dB（標準）⇆・・・⇆+9.0dB（高）	0.0dB

選択項目および表示例	選択内容	初期値
外部マイク感度 マイクカンド 外　部　0.0dB	-9.0dB⇆-7.5dB⇆・・・⇆-1.5dB⇆0.0dB⇆+1.5dB⇆・・・⇆+7.5dB⇆+9.0dB (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で1.5dBずつ増減、**選択ボタン**で決定) ● 無線機に取り付けた外部マイクの感度を設定します。外部マイクとはオプションのマイク&スピーカなどです。 ● マイクの感度は以下のようになります。 -9.0dB（低）⇆・・・⇆0.0dB（標準）⇆・・・⇆+9.0dB（高）	0.0dB
マイクノイズキャンセル マイク ノイズキャンセル ON	ON⇆OFF (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● 周囲の騒音を抑えて明瞭な音声を送信します。	ON
表示部輝度 LCD 輝 度　レ ベ ル 08	01⇆02 … 08 … 14⇆15 (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で1ずつ増減、**選択ボタン**で決定) ● 表示部のコントラストを調整します。 ● 表示部のコントラストは以下のようになります。 01（薄い）⇆・・・⇆08（標準）⇆・・・⇆15（濃い）	08
バッテリーセーブ バッテリー セーブ　OFF	OFF⇆ON (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ●「ON」を選択すると、バッテリーセーブが働き電池は長く持ちます。ただし、間欠受信になるため受信音の頭切れや着信しない場合があります。	OFF
イヤホン イヤホン 切替モード　ON	ON⇆OFF (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ●「OFF」を選択すると、イヤホン端子にイヤホンを挿した場合もスピーカーからも音は鳴り、共鳴りになります。	ON

選択項目および表示例	選択内容	初期値
ビープ音量 ビープ 音　量　　HI	HI⇆LOW⇆OFF⇆ (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● 「OFF」を選択すると、ビープ音は出なくなります。ここでのビープ音量の設定は個別通話時の呼び出し音を含む全てに反映されます。但し、緊急アラーム音は除きます。	HI
バッテリー残量ビープ ビープ バッテリー残量ON	ON⇆OFF (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● バッテリーの残量低下時にビープ音を鳴動します。	ON
送信ビープ ビープ 送信ビープ　OFF	OFF⇆ON (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● PTTボタンが押され送信開始時にビープ音を鳴動します。	OFF
受信ビープ ビープ 受信ビープ　OFF	OFF⇆ON (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● 受信終了時にビープ音を鳴動します。	OFF
上空チャンネル ジョウクウCH 上空受信　OFF	OFF⇆ON (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● 上空用チャンネルをモニターすることができます。なお、このチャンネルで送信することはできません。	OFF

選択項目および表示例	選択内容	初期値
スキャン スキャン 種　類　OFF	OFF⇆ON⇆2nd⇆ (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● ONを選択するとスキャン対象に設定した複数チャンネルを順番に切り替えて信号のあるチャンネルを自動的に受信します。 ● 2ndを選択すると現在の通話チャンネルとセカンドPTTチャンネルに設定したチャンネルを交互にスキャンをします。 ● 呼び出し設定モードの通話方式が「UC通話」を選択されているときに表示されます。「個別通話」が選択されているときは表示されません。また、スキャン動作しません。	OFF
スキャン再開 スキャン 再　開　5秒	OFF⇆即時⇆1秒⇆2秒⇆・・・⇆30秒⇆ (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で1秒ずつ増減、**選択ボタン**で決定) ● 受信信号がなくなった場合や送信後のスキャン再開動作の選択ができます。	5秒
スキャン自動スタート スキャン 自動スタート　OFF	OFF⇆ON (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● 「ON」を選択すると、電源を入れたときにスキャンを自動でスタートさせます。	OFF
スキャンセカンドチャンネル スキャン 2nd CH　0.2秒	0.2秒⇆0.4秒⇆・・・⇆1.8秒⇆2.0秒⇆ (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で0.2秒ずつ増減、**選択ボタン**で決定) ● セカンドチャンネルのスキャン時間を設定します。	0.2秒
データ通信速度 ホストツウシン B. Rate　9600	1200⇆2400⇆4800⇆9600⇆19200⇆38400⇆ (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● データ通信速度(bps)を設定します。	9600

選択項目および表示例	選択内容	初期値
データ長/ストップビット/パリティ ホストツウシン B:8 S:1 P:N	B:8 S:1 P:N⇆・・・⇆B:7 S:1 P:0⇆・・・⇆B:8 S:1 P:0⇆ (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● B（データビット長）：8ビットあるいは7ビットを選択します。 ● S（ストップビット長）：1ビットあるいは2ビットを選択します。 ● P（パリティビット）：N（NONなし）、E（EVEN偶数）、O（ODD奇数）。	B:8 S:1 P:N
UARTリセット時間 ホストツウシン BREAK OFF	OFF⇆10sec⇆20sec⇆・・・ ⇆80sec⇆90sec⇆ (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で10secずつ増減、**選択ボタン**で決定) ● UART通信のRXDリセット時間を選択します。データ通信に不具合が発生したとき、設定した時間のスペース状態を外部制御することでリセット動作を行います。	OFF
初期化 ショキカ OFF	OFF⇆ON (**選択ボタン**を押す[点滅]、▲/▼で選択、**選択ボタン**で決定) ● 設定を工場出荷状態に初期化します。 ● 初期化を行うと、機能設定モードだけではなく、呼び出し設定モードも初期化されます。初期化を行う前には、呼び出し設定モードのUC（ユーザーコード）や各番号をあらかじめ控えておくことをお勧めします。	OFF

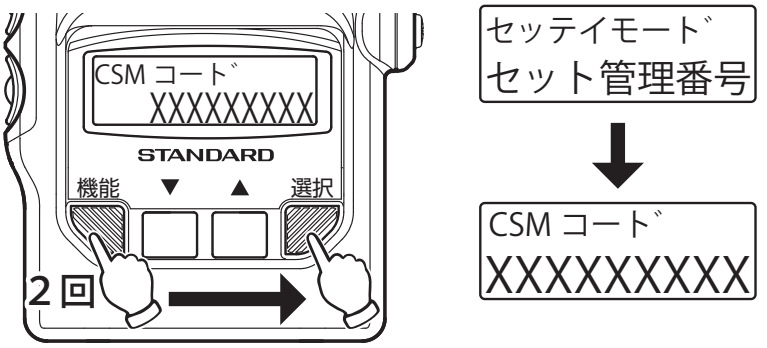
● [　　]の項目は、通話方式が「UC通話」を選択しているときに表示されます。

セット管理番号

■ セット管理番号の確認方法

① **機能ボタン**を押したまま、**電源 / 音量ツマミ**を右（時計方向）に回し電源を入れ、「設定モード」が表示されたら、**機能ボタン**を離します。
- 「セッテイモード　呼出設定」が表示されます。

② **機能ボタン**を2回押して、「セッテイモード　セット管理番号」が表示されたら、**選択ボタン**を押します。



- CSMコードが表示されます。

③ セット管理番号の確認を終えるには、**電源 / 音量ツマミ**を左（反時計方向）に回し電源を切り、再度電源を入れます。
または**PTTボタン**を長押しします。

設定の初期化

設定した機能を初期化し、工場出荷状態に戻すことができます。

- 機能設定モードでも同様の初期化ができます。
- 全体初期化を行う前には、呼び出し設定モードのUC(ユーザーコード)や個別番号、グループ番号、秘話鍵などをあらかじめ控えておくことをお勧めします。

① **電源 / 音量ツマミ**を左（反時計方向）に回し、電源を切ります。

② **機能ボタン**と**選択ボタン**を押したまま、**電源 / 音量ツマミ**を右（時計方向）に回し、電源を入れます。

③「SET　設定リセット」が表示されたら、**機能ボタン**と**選択ボタン**を離します。
- 「SET　設定リセット」が表示される前に、各ボタンを離すと、通常運用になります。
- 「設定リセット」表示が点滅し初期化待機状態になります。

④ 初期化するには、**選択ボタン**を押します。
- 本機が初期化され、工場出荷状態に戻ります。
- 初期化しない場合は、**電源 / 音量ツマミ**を左（反時計方向）に回し、電源を切ってください。

⑤「設定リセット」表示が点滅から点灯になることを確認します。
- 表示が点灯に変わったことをよく確認してください。

⑥ 設定リセットを終了するには、**電源 / 音量ツマミ**を左（反時計方向）に回し電源を切り、再度電源を入れます。
または**PTT ボタン**を長押しします。

本体定格

■ 一般

使用周波数.....351.03125MHz ～ 351.1000MHz
351.20000MHz ～ 351.63125MHz
351.10625MHz ～ 351.19375MHz（受信のみ）
電波形式.....F1C、F1D、F1E、F1F
通信方式.....単信プレストーク方式
電源電圧.....DC +7.4V
発振方式.....水晶発振により制御する周波数シンセサイザー方式
アンテナ.....ヘリカルアンテナ
使用温度範囲.....－20℃～＋60℃
寸法.....幅56mm 高さ96.5mm 奥行き36mm
（電池含む、突起物含まず）
質量.....約300g
（アンテナ、電池パックを含む）

■ 送信部

送信出力.....5W/1W(+20%、-50%以内)
周波数の偏差.....±1.5ppm以内
占有周波数帯幅.....5.8kHz以下
スプリアス発射強度.....2.5 μ W 以下
最大周波数偏位.....± 1203Hz ± 10%以内
変調方式.....4値FSK

■ 受信部

受信方式.....スーパーヘテロダイン方式
受信感度.....-2dBμVemf以下（BER1%）
低周波出力.....0.4W以上（16Ω負荷）
副次的に発する電波等の限度.....4nW以下

故障とお考えになる前に

サービスを依頼される前に、ご面倒ですが次のことをお調べください。
下記項目を確認しても正常に動作しない場合は、お買い上げになった販売店またはCSRカスタマーサポートにご相談ください。

■電源が入らない

- 電池パックが消耗している。→電池パックを充電してください。
- 電池パックの接触不良。→電池パックの接続端子を乾いた布で拭いてください。

■電源がすぐ切れる

- 電池パックの接触不良。→電池パックの接続端子を乾いた布で拭いてください。
- 電池パックの寿命。→電池パックの寿命は、正常なご使用で約1年です。
- 十分に充電しても、電源が早く切れるときは、新しい電池パックにお取り替えください。

■送信できない

- 送信時、「ブッ」というビープ音が鳴る。→回線が使用されている状態です。しばらく待ってから再度送信してください。または、チャンネルを変更してください。

■受信できない

- 電池パックが消耗している。→電池パックを充電してください。
- 音が小さくて聞こえない。→音量を調整してください。

■自局または相手局の電波が届かない。

- アンテナが外れている。または緩んでいる。→アンテナをきちんと取り付けてください。
- 地下またはトンネル内である。→外に出てから交信してください。

保証・アフターサービス

■【保証書（別添）】

この製品には、保証書を（別途）添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■【保証期間】

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■【保証用性能部品の最低保有期限】

弊社はこの本製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年保有しています。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

■【修理に関する相談窓口】

修理に関するご相談ならびに不明な点はお買い上げの販売店またはCSRカスタマーサポートへお問い合わせください。

CSRカスタマーサポート

フリーアクセス **0120-973-698**

e-mail：standard_support@kcsr.co.jp

ご相談受付時間　9:00 ～ 17:00（土日祝日を除く）

修理を依頼されるときは

「故障とお考えになる前に」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店またはCSRカスタマーサポートへお問い合わせください。

お願い

- 修理に出された場合、設定されたデータが消去される場合がありますので、別途お客様ご自身でお控えくださいますようお願い致します。また、本機の故障、誤動作、不具合などによって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■【保証期間中は】

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはCSRカスタマーサポートが修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■【保証期間が過ぎているときは】

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■【持込修理】

この製品は持込修理とさせていただきます。修理をご依頼のときは、製品名、製造番号、お買い上げ日、故障の状況（できるだけ具体的に）、ご住所、お名前、電話番号をお知らせください。

■【修理料金の仕組み】（有料修理の場合は次の料金が必要です）

技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理及び付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、測定器など設備費、一般管理費などが含まれます。

部品代：修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

送料：　郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

メ　モ

メ　モ

株式会社CSR

〒252-0303　神奈川県相模原市南区相模大野 5 丁目 33 番 4 号

当社の最新情報をインターネット上で確認してください。

https://www.kcsr.co.jp/

CSRカスタマーサポート

フリーアクセス **0120-973-698**

e-mail：standard_support@kcsr.co.jp

ご相談受付時間

9:00 ～ 17:00

（土日祝日を除く）

お問い合わせは、販売店あるいは CSR カスタマーサポートで承っております。

Printed in Japan　2024/07　97BC851230